

証券コード:5401



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

2015年度 1Q決算説明会

常務執行役員

宮本 勝弘

2015年7月29日

特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値

1. 2015年度1Q決算・上期見通し
2. 2015年度見通し
3. 中期経営計画の進捗状況
4. 参考データ

1. 2015年度1Q決算・上期見通し

2015年度1Q決算・上期見通しの概況

需給環境（15上期見通し）

- 国内鋼材需要：1Qは建設分野の季節要因や自動車分野の在庫調整影響等により需要が減少
- 海外鉄鋼需要：中国及びASEAN諸国の景気減速傾向や、原油市況低迷によるエネルギー分野活動の急減速の影響等により、需要の不透明感が増大

当社の取組み

- 需要減少期をとらえ、2017中期経営計画に盛り込んだ国内マザーミルの製造基盤強化のための投資・補修を集中的に実行
- 海外での高成形性超ハイテン製造体制の構築のため、米国AM/NS Calvertへの投資を決定

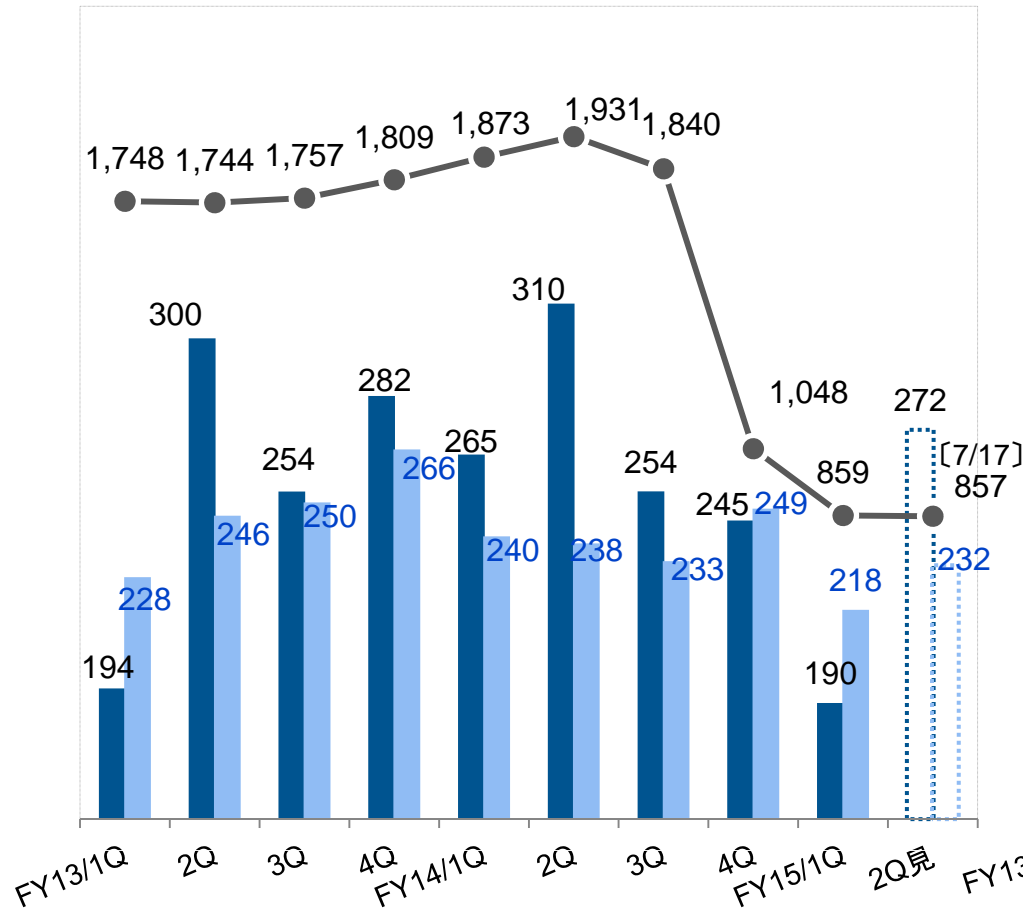
1Q決算概況・上期見通し

- 15年度1Q：経常利益 844億円（対14/1Q:+101億円）、当期利益^{*} 727億円（対14/1Q:+244億円）
- 15年度上期：経常利益 1,500億円（対14/上:-263億円）、当期利益^{*} 1,150億円（対14/上:+28億円）
- 第2四半期末の配当は3円/株（連結配当性向24%）を予定

* 親会社株主に帰属する当期純利益

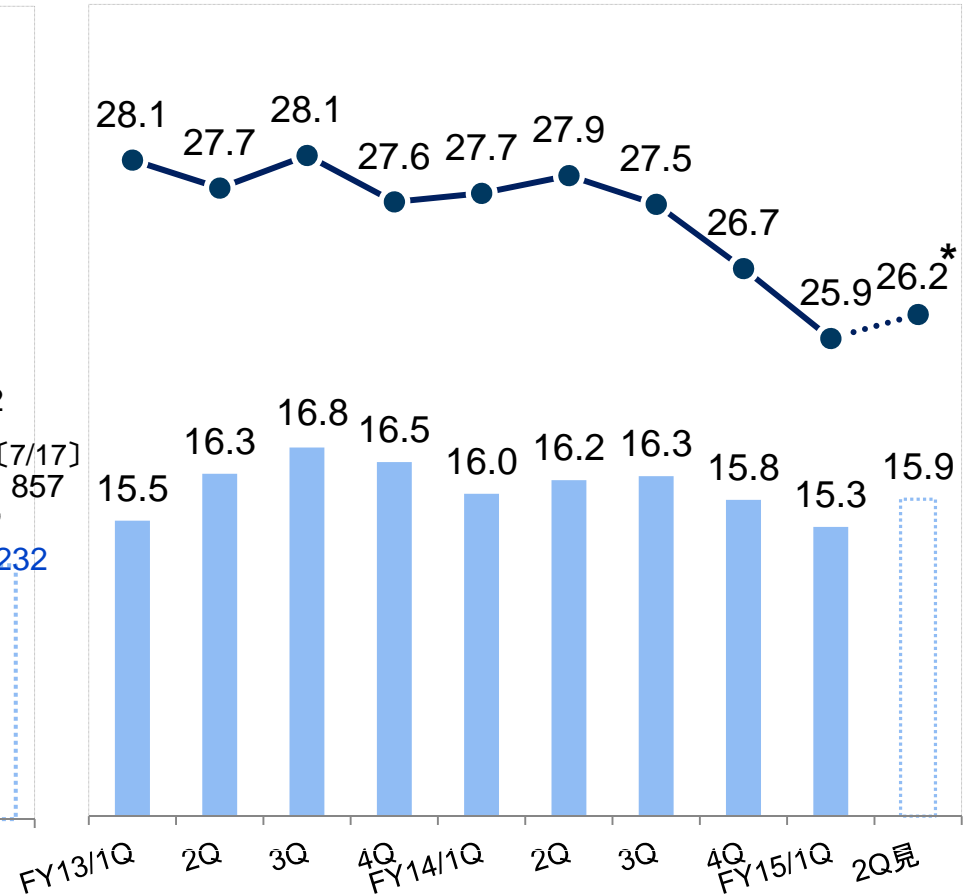
主要需要分野の活動水準

■ 国内公共工事受注(百億円) ■ 国内完成車生産台数(万台)
 -●- 米国リグカウント数(基)



全国粗鋼・国内鋼材消費

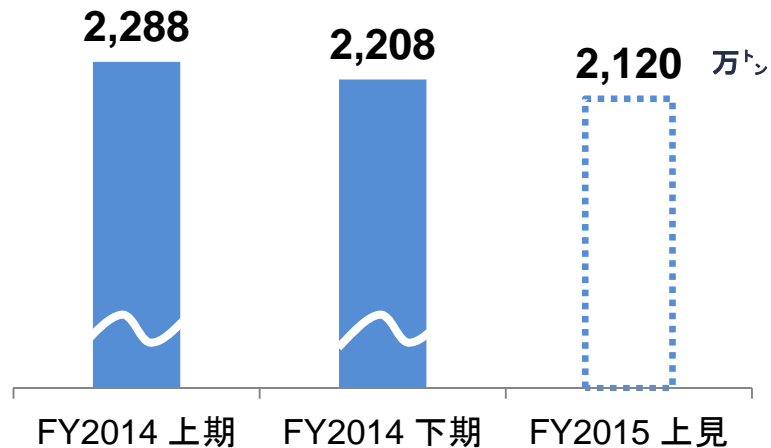
■ 国内鋼材消費(百万トン) -●- 全国粗鋼生産(百万トン)



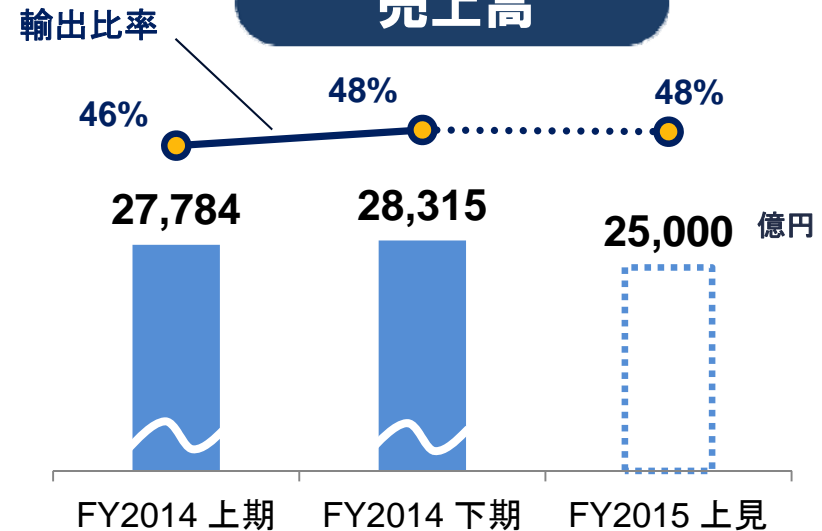
* 経済産業省発表 FY15.2Q鋼材需要見通し(2015/7/3)

2015年度上期見通し: 主要指標の推移

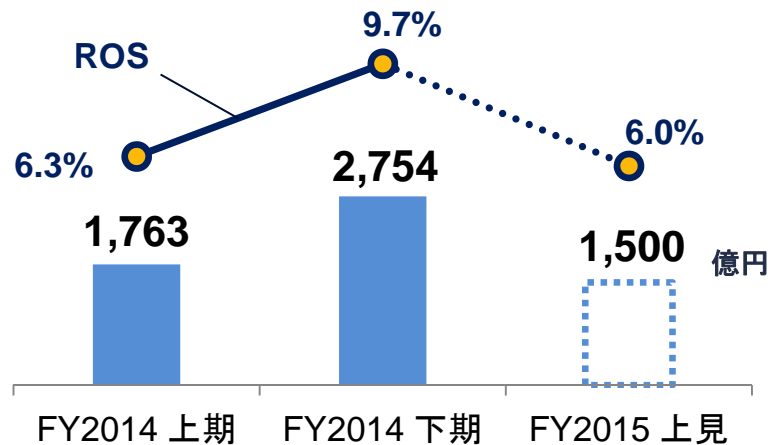
粗鋼生産量



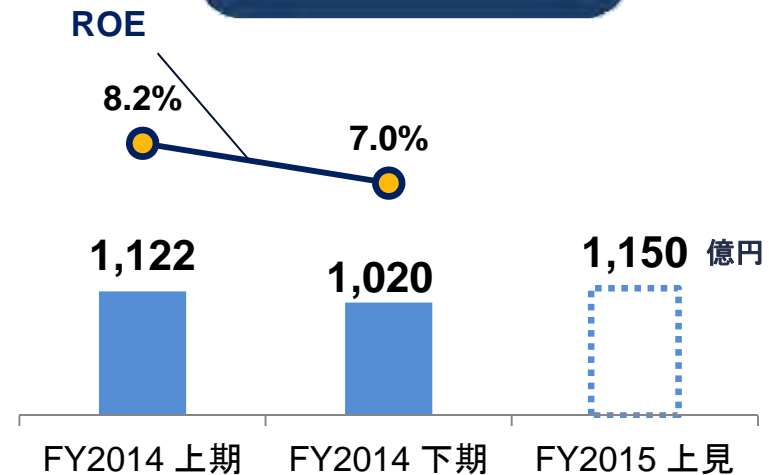
売上高



経常利益



当期利益*



* 親会社株主に帰属する当期純利益

主要需要分野の活動水準推移

〔国内〕		FY14					FY15			差異	
		1Q	2Q	上期	下期	年度	1Q ^{*2}	2Q ^{*2} 見通し	2Q ^{*2} 上期 見通し	14/1Q → 15/1Q	14/上 → 15/上見
建設	住宅着工戸数 (万戸)	22	22	44	44	88	22	24	46	+0	+2
	非住宅着工面積 (万㎡)	1,398	1,336	2,734	2,527	5,261	1,353	1,343	2,695	-45	-39
	公共工事受注 ^{*1} (10億円)	2,649	3,104	5,752	5,112	10,864	1,900	2,723	4,623	-749	-1,129
自動車	完成車生産台数 (万台)	240	238	478	481	959	218	232	450	-22	-29
	完成車輸出台数 (万台)	109	115	224	225	449	114	116	230	+5	+6
	海外生産(8社) (万台)	427	415	843	865	1,708	443			+16	
産業機械	大中型ショベル (千台)	19	21	39	39	78	15	17	32	-3	-7
	金属工作機械 (千台)	108	123	231	250	481	118	127	245	+10	+15
造船	新造船起工 (万ゲロストン)	335	325	660	640	1,300	320	320	640	-15	-20

リグカウントの状況	CY09平均	CY10平均	CY11平均	CY12平均	CY13平均	CY14平均	直近
米国	1,089	1,546	1,875	1,919	1,761	1,862	857 (15/7/17)
深井戸(≧15,000ft)	249	249	395	324	326	354	201 (15/4)
北米・露・中を除く世界	997	1,094	1,167	1,234	1,296	1,337	1,146 (15/6)

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額。 *2 6月中旬見込み値

国内主要需要分野の鋼材消費推移

(単位:万ト)	FY14					FY15			差異	
	1Q	2Q	上期	下期	年度	* 1Q	2Q* 見通し	* 上期 見通し	14/1Q → 15/1Q	14/上 → 15/上見
全国粗鋼生産量	2,767	2,789	5,556	5,428	10,984	2,589	2,618	5,206	-178	-350
国内鋼材消費	1,592	1,616	3,208	3,206	6,414	1,535	1,585	3,120	-57	-88
製造業比率 (%)	63.6	63.1	63.3	63.2	63.3	63.6	63.1	63.3	+0.0	-0.0
普通鋼鋼材消費	1,262	1,282	2,544	2,557	5,101	1,213	1,253	2,467	-49	-77
建設	551	565	1,116	1,122	2,238	531	555	1,086	-20	-30
製造業	711	717	1,428	1,435	2,863	683	698	1,381	-29	-47
ウチ、造船	110	110	220	216	436	107	107	214	-3	-6
ウチ、自動車	275	278	554	555	1,108	260	275	535	-16	-19
ウチ、産業機械	132	138	270	271	541	125	126	251	-7	-19
ウチ、電気機械	79	76	155	153	308	78	76	154	-1	-1
特殊鋼鋼材消費	330	334	664	649	1,313	321	332	653	-9	-11
鋼材輸入	176	169	346	321	666					
鋼材輸出	953	994	1,947	1,950	3,897					

(出所:各種統計資料・当社推定) * 6月中旬見込み値

当社製鉄事業主要指標

(単位:万ト)	FY14					FY15			差異	
	1Q	2Q	上期	下期	年度	1Q	2Q 見通し	上期 見通し	14/1Q → 15/1Q	14/上 → 15/上見
出銑量*	1,105	1,160	2,264	2,227	4,491	1,045	1,100	2,140	-59	-124
粗鋼生産量(連結)	1,186	1,216	2,402	2,330	4,732	1,089	1,140	2,230	-98	-172
粗鋼生産量(単独)	1,129	1,159	2,288	2,208	4,496	1,031	1,090	2,120	-98	-168
鋼材出荷量	1,043	1,068	2,111	2,077	4,188	985	1,010	1,990	-58	-121
シームレス出荷量	30	29	58	59	118	23	20	43	-7	-15
鋼材平均価格 (千円/ト)	87.6	86.0	86.8	87.5	87.2	82.8	80	81	-4.8	-6
鋼材輸出比率(% [金額ベース])	46	47	46	48	47	48	47	48	+2	+2
為替レート(¥/\$)	102	103	103	116	109	121	125	123	19円安	20円安

* 北海製鉄・日鉄住金鋼鉄和歌山含み

2015年度1Q決算・上期見通し

(単位:億円)	FY14					FY15			差異	
	1Q	2Q	上期	下期	年度	1Q	2Q 見通し	上期 見通し	14/1Q → 15/1Q	14/上 → 15/上見
売上高	13,614	14,170	27,784	28,315	56,100	12,649	12,351	25,000	-965	-2,784
営業利益	596	758	1,355	2,139	3,495	523			-73	
経常利益	743	1,020	1,763	2,754	4,517	844	656	1,500	+101	-263
特別損益	-	-49	-49	-706	-755	192			+192	
当期利益*	483	639	1,122	1,020	2,142	727	423	1,150	+244	+28
[1株当り 当期利益]	[5.3]	[7.0]	[12.3]	[11.2]	[23.5]	[8.0]	[4.6]	[12.6]	[+2.7]	[+0.3]
EBITDA	1,358	1,542	2,901	3,794	6,695	1,257			-101	
EBITDA / Sales	10.0%	10.9%	10.4%	13.4%	11.9%	9.9%			-0.1%	
ROS	5.5%	7.2%	6.3%	9.7%	8.1%	6.7%	5.3%	6.0%	+1.2%	-0.3%
ROE	7.2%	9.2%	8.2%	7.0%	7.6%	9.8%			+2.6%	

* 親会社株主に帰属する当期純利益

特別損益について

(単位:億円)

	FY14					FY15
	1Q	2Q	上期	下期		1Q
関係会社株式売却益*	—	52	52	91	143	334
特別利益	—	52	52	91	143	334
設備休止関連損失	—	-101	-101	-111	-212	-141
関係会社事業損失	—	—	—	-686	-686	—
特別損失	—	-101	-101	-797	-898	-141
特別損益	—	-49	-49	-706	-755	192

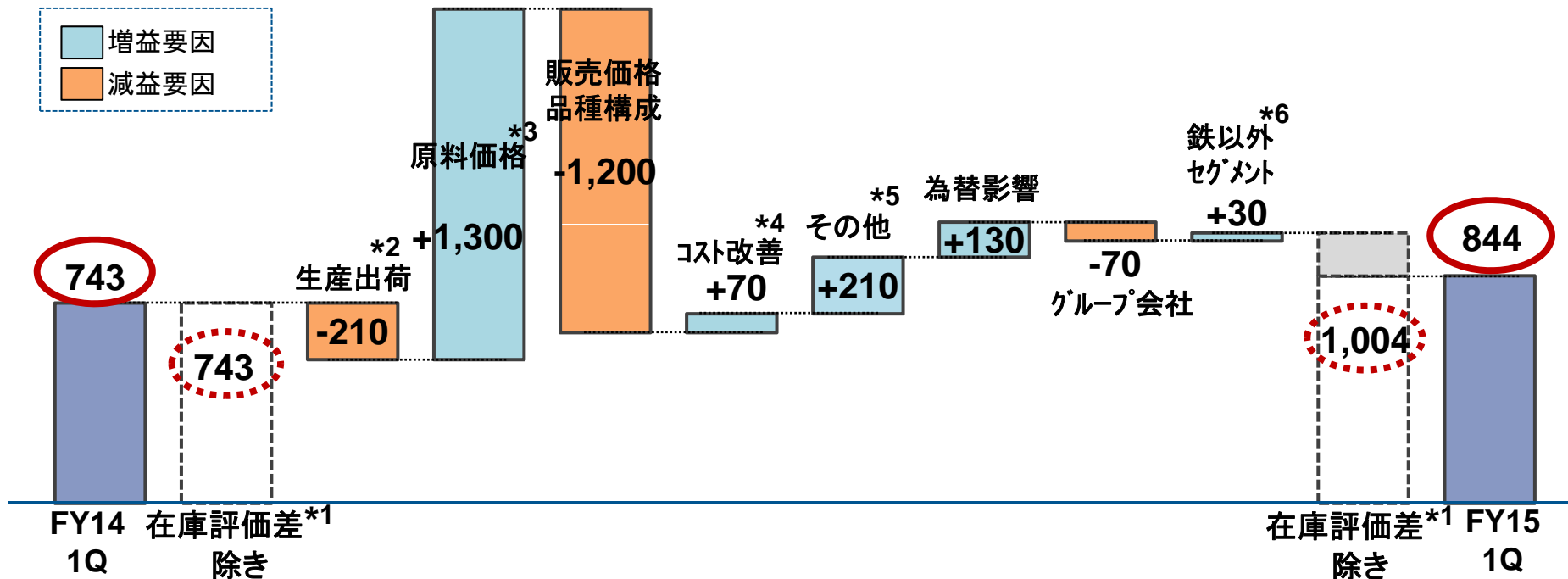
SUMCO株売却益等 ←

* FY14は投資有価証券売却益を含む

経常損益分析 (14/1Q→15/1Q)

(単位:億円)	FY14/1Q [A]	FY15/1Q [B]	増減 [A→B]
経常利益	743	844	+101
製鉄	710	747	+37
鉄以外セグメント	64	97	+33
調整額	-31	-0	+31

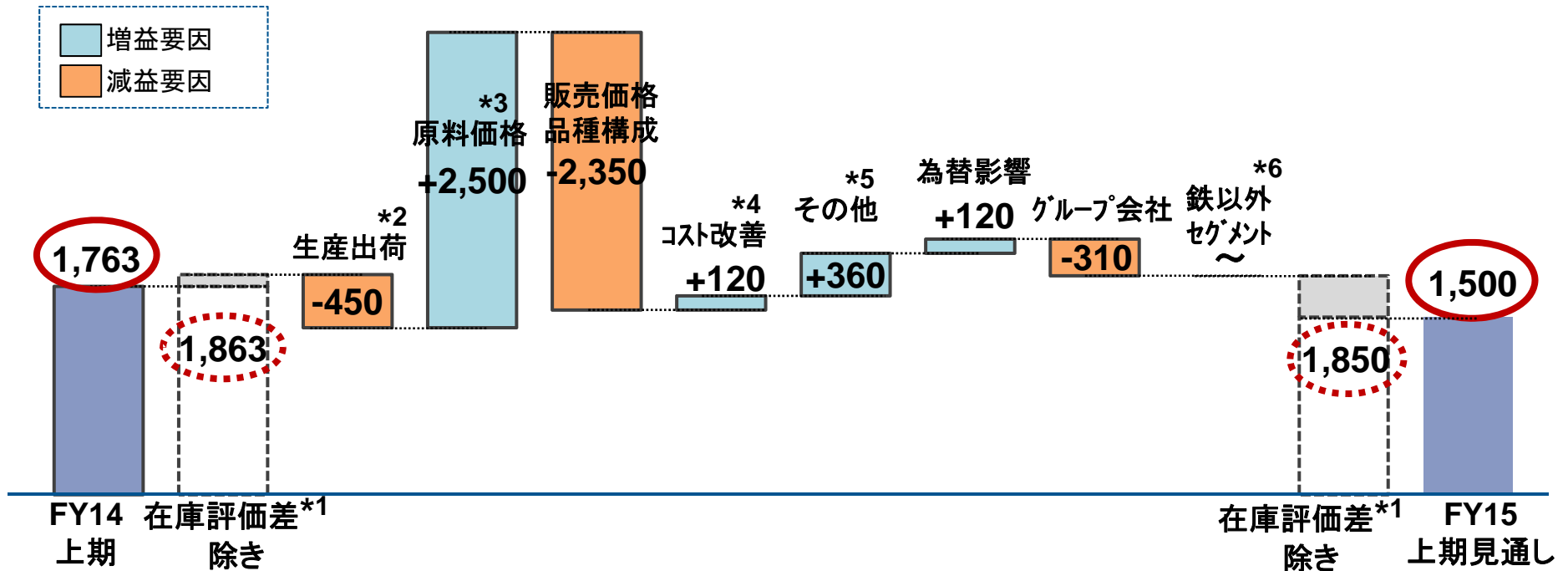
- *1 在庫評価差
FY14/1Q:0 → FY15/1Q:-160
- *2 粗鋼-98万ト (1,129→1,031)
出荷-58万ト (1,043→985)
- *3 キャリーオーバー影響含む
- *4 統合効果含む
- *5 高炉改修影響+100(-100→0)
- *6 エンジニアリング-2、化学+14、
新素材+4、システムソリューション+16



経常損益分析 (14/上期→15/上期見通し)

(単位:億円)	FY14上期 [A]	FY15上期 見通し [B]	増減 [A→B]
経常利益	1,763	1,500	-263
製鉄	1,591	1,300	-291
鉄以外セグメント	176	170	-6
調整額	-5	30	+35

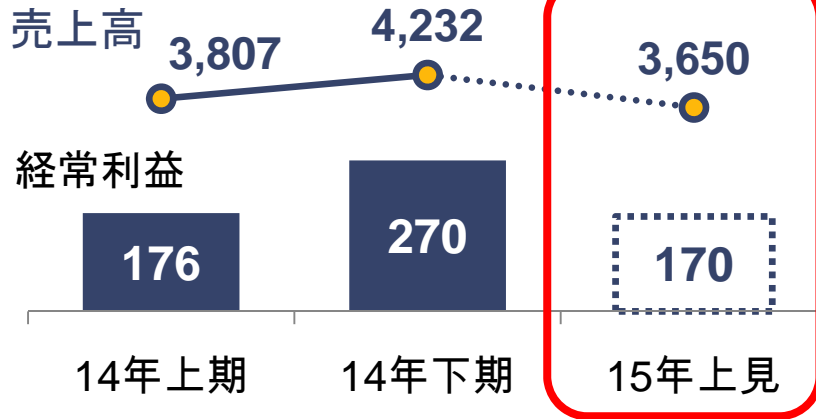
- *1 在庫評価差
FY14/上:-100 → FY15/上見:-350
- *2 粗鋼-168万トン程度(2,288→2,120程度)
出荷-121万トン程度(2,111→1,990程度)
- *3 キャリーオーバー影響含む
- *4 統合効果含む
- *5 高炉改修影響+100(-100→0)
- *6 エンジニアリング-10、化学～、
新素材～、システムソリューション+10



製鉄以外セグメント概況

売上高・経常利益推移 (4セグメント合計)

(単位:億円)



2015年上期 経常損益動向見通し (前年同期対比)

エンジニアリング事業	↓ 減益	: 大型プロジェクトの完工の減少により減益
化学事業	→ 横這い	: 化学品修繕費用減、回路基板材料好調も、横這い。コルケミカル事業悪化によりほぼ横ばい
新素材事業	→ 横這い	: 金ワイヤの銅化で減収も、概ね同水準
システムソリューション事業	↑ 増益	: 販売管理費増加も、業務ソリューション・サービスソリューションを中心に増益

エンジニアリング事業	2014		2015	
	1Q	上期	1Q	上見
売上高	754	1,553	706	1,400
経常利益	19	48	17	40

新素材事業	2014		2015	
	1Q	上期	1Q	上見
売上高	90	182	88	180
経常利益	4	11	8	10

(単位:億円)

化学事業	2014		2015	
	1Q	上期	1Q	上見
売上高	521	1,122	522	1,060
経常利益	8	43	22	40

システムソリューション事業	2014		2015	
	1Q	上期	1Q	上見
売上高	447	948	511	1,010
経常利益	32	72	48	80

貸借対照表

(億円)	2015年 3月末	2015年 6月末
流動資産合計	23,338	22,137
たな卸資産	12,542	12,247
固定資産合計	48,241	47,475
有形固定資産	25,978	25,879
投資有価証券	7,687	7,729
関係会社株式	10,795	10,225
資産合計	71,579	69,613

(億円)	2015年 3月末	2015年 6月末
負債合計	36,108	34,347
有利子負債	19,765	19,403
純資産合計	35,470	35,266
自己資本	29,786	29,597
評価差額金*	2,796	2,849
非支配株主持分	5,683	5,668
負債純資産合計	71,579	69,613

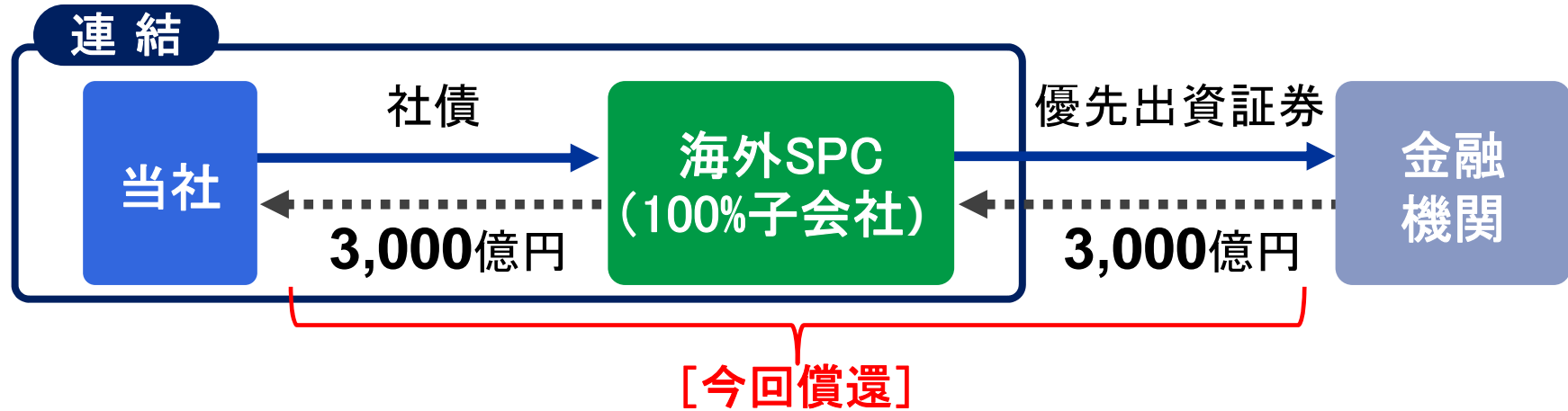
	2015年3月末	2015年6月末	増減
総資産 (億円)	71,579	69,613	-1,966
有利子負債 (億円)	19,765	19,403	-362
自己資本 (億円)	29,786	29,597	-189
D/Eレシオ (倍)	0.66	0.66	—

* その他有価証券評価差額金

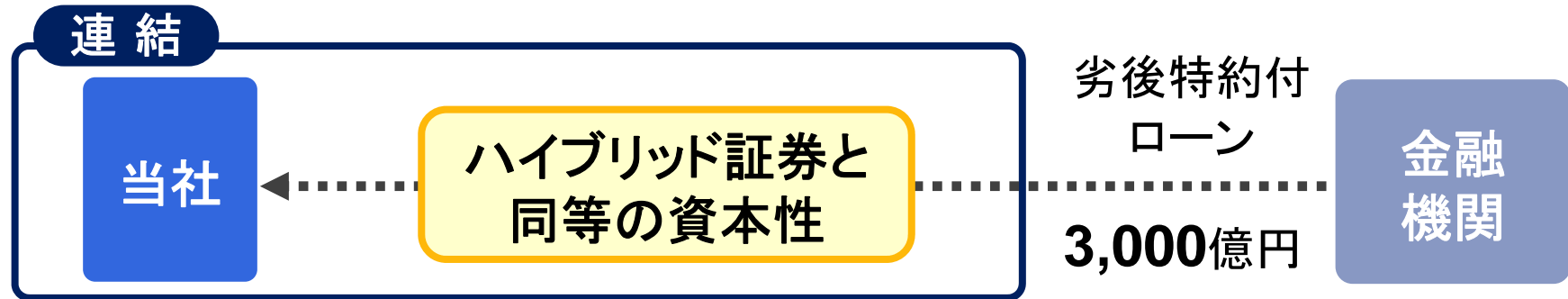
ハイブリッド証券の償還 及び劣後特約付ローンの借入れ

連結財務体質を維持しつつ、金利コストを低減

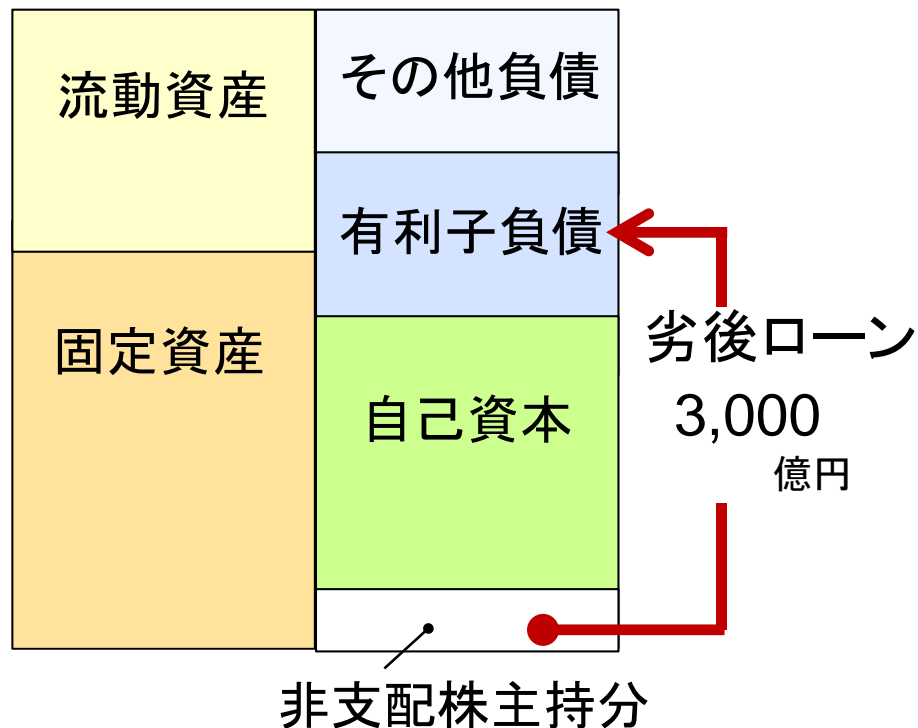
■ ハイブリッド証券(2006年11月発行)



■ 劣後特約付ローン(2015年7月借入れ)



BS



PL

金利コスト削減、当期利益^{*}改善

D/E

本リファイナンスにより、
2Q以降、0.1程度悪化見込み

国際格付け上の財務体質評価
には変更なし

* 親会社株主に帰属する当期純利益

第2四半期末の剰余金の配当について

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、2015年3月3日の中期経営計画にて発表した今後の配当方針に従い、1株につき3円(連結配当性向24%)とさせていただきますと予定と致します。

< 剰余金の配当等の決定に関する方針 >

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。

「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20～30%を目安と致します。

2. 2015年度見通し

2015年度通期見通しについて

2015年度下期以降、国内は生産・出荷の回復が見込まれる一方、海外はエネルギー向け鋼材の需要と国際市況の低迷が引き続き見込まれるが、2015年度通期の経常利益としては3,700億円程度の収益を確保したい。また、当期利益^{*1}としては、対前年度20%程度増益の2,600億円程度を目指したい。

(単位:億円)	FY14			FY15					差異	
	上期	下期	年度	1Q	2Q 見通し	上期 見通し	下期 見通し	年度 見通し	15/上見 → 15/下見	14年 → 15年見
売上高	27,784	28,315	56,100	12,649	12,351	25,000	26,000	51,000	+1,000	-5,100
経常利益	1,763	2,754	4,517	844	656	1,500	2,200	3,700	+700	-817
製鉄	1,591	2,428	4,019	747	553	1,300	1,950	3,250	+650	-769
鉄以外セグメント	176	270	447	97	73	170	280	450	+110	+3
調整額	-5	55	50	-0	30	30	-30	0	-60	-50
当期利益 ^{*1}	1,122	1,020	2,142	727	423	1,150	1,450	2,600	+300	+458
[1株当り 当期利益]	[12.3]	[11.2]	[23.5]	[8.0]	[4.6]	[12.6]	[157] ^{*2}	[283] ^{*2}		

*1 親会社株主に帰属する当期純利益 *2 2015年10月1日を効力発生日とする株式併合による影響を反映した値

国内

鋼材需要は2Qから回復見込

海外

鋼材市況:

中国・韓国での高生産が継続
輸出増加による低迷続く

エネルギー関連:

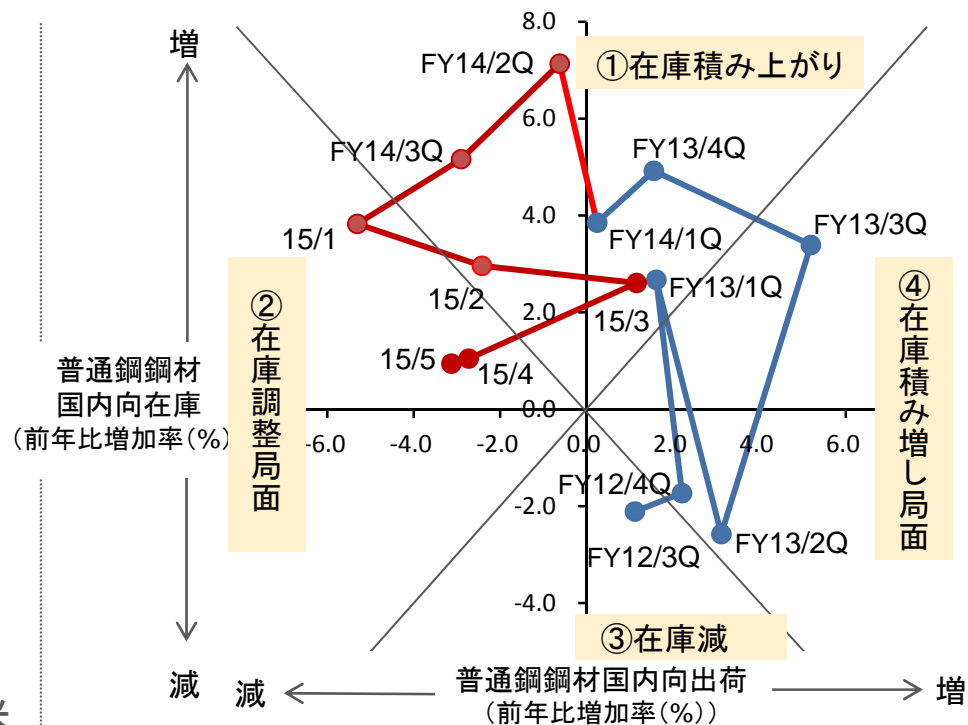
稼働リグの減少やエネルギー関連プロジェクトの延期等により鋼材需要は低迷

当社の取組み

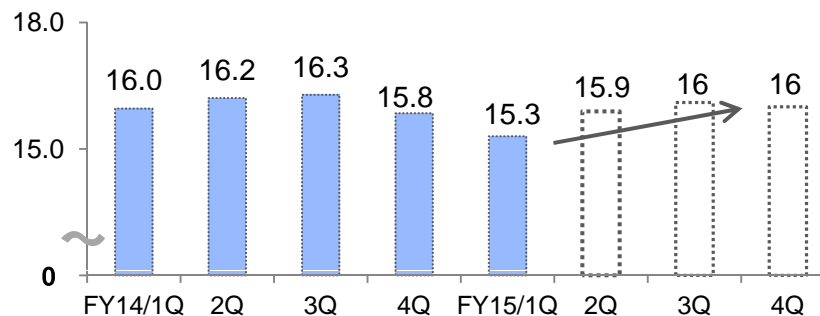
2017年中期諸施策を着実に実行

- ・マザーミル競争力最大化
- ・世界最高水準のコスト競争力実現
- ・グローバル戦略の推進
- ・グループ会社の体質強化
- ・技術先進性の発揮

<参考1> 国内鋼材在庫循環表



<参考2> 国内鋼材消費見通し (百万ト)



《ご参考》 製鉄以外セグメント:2015年度通期見通し

(単位:億円)		FY14			FY15				
		上期	下期	年度	1Q	2Q 見通し	上期 見通し	下期 見通し	年度 見通し
売上高	製鉄以外セグメント合計	3,807	4,232	8,039	1,828	1,822	3,650	4,160	7,810
	エンジニアリング	1,553	1,933	3,486	706	694	1,400	1,800	3,200
	化学	1,122	1,005	2,127	522	538	1,060	1,040	2,100
	新素材	182	181	364	88	92	180	220	400
	システムソリューション	948	1,111	2,060	511	499	1,010	1,100	2,110
経常利益	製鉄以外セグメント合計	176	270	447	97	73	170	280	450
	エンジニアリング	48	138	187	17	23	40	140	180
	化学	43	25	68	22	18	40	30	70
	新素材	11	13	24	8	2	10	15	25
	システムソリューション	72	93	165	48	32	80	95	175

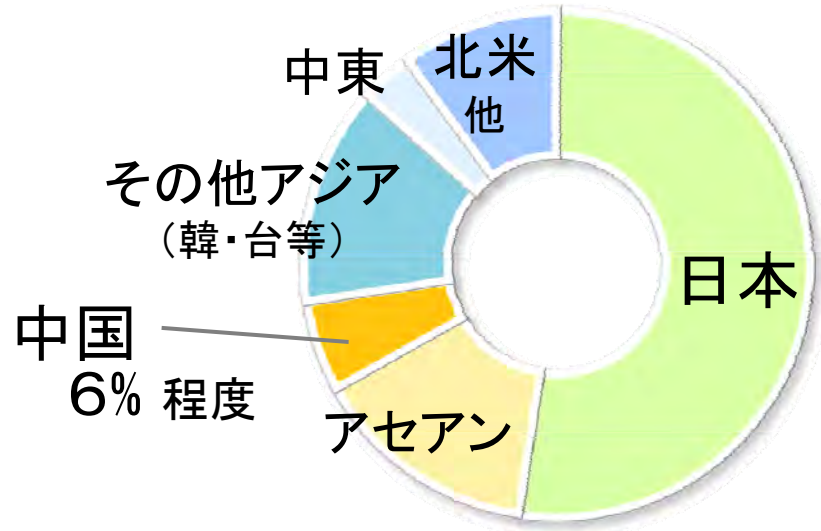


新日鐵住金

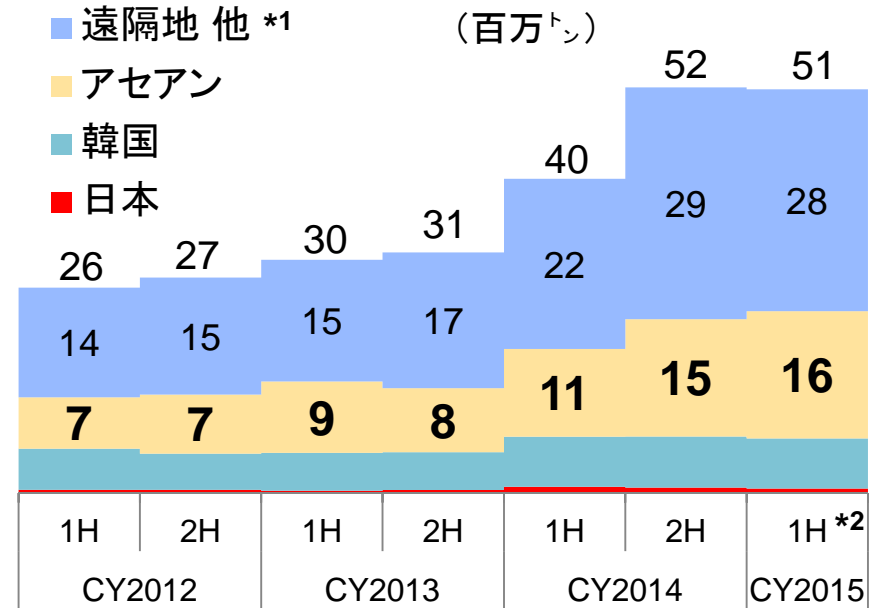
NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

《ご参考》 鋼材の国別出荷量等

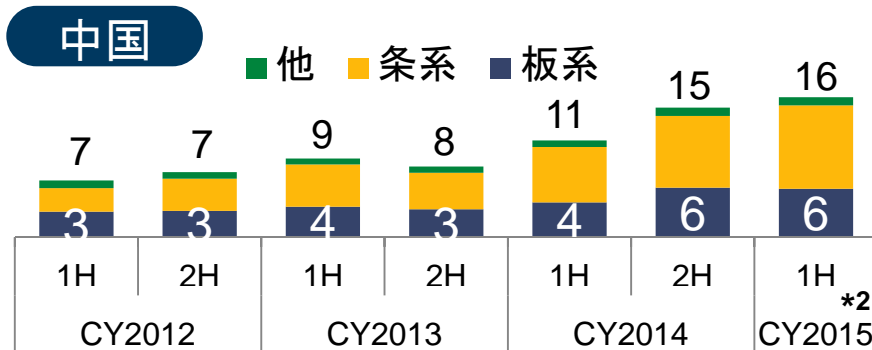
■ CY2014 国別当社出荷量



■ 中国輸出材の向け先推移 (百万ト)



■ アセアンへの鋼材輸出 品種別内訳 (百万ト)

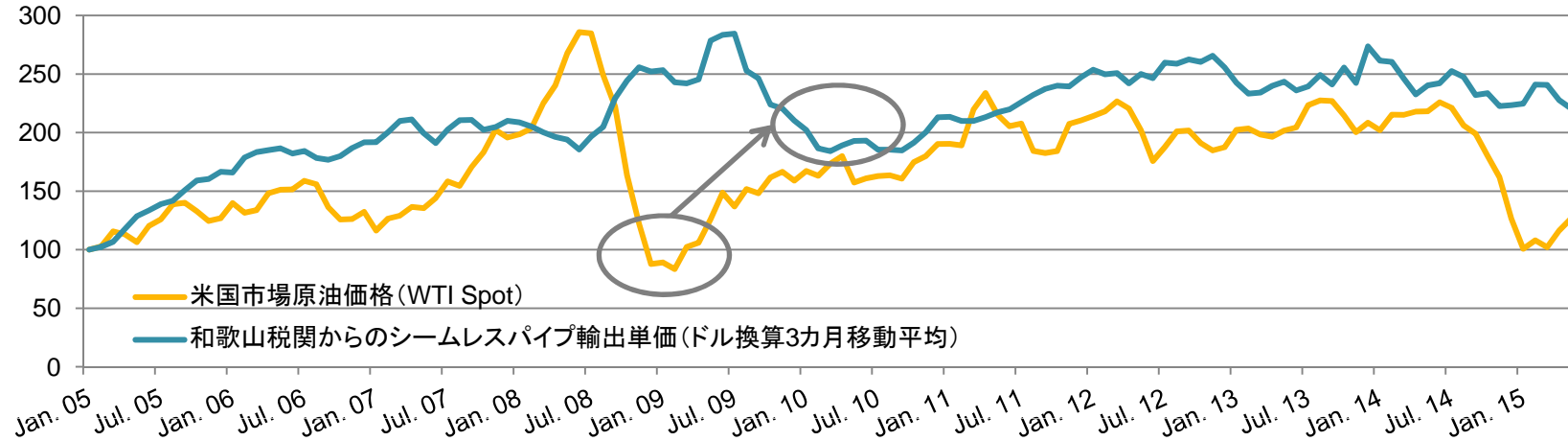


*1 中東、アフリカ、欧州、北米、中南米等

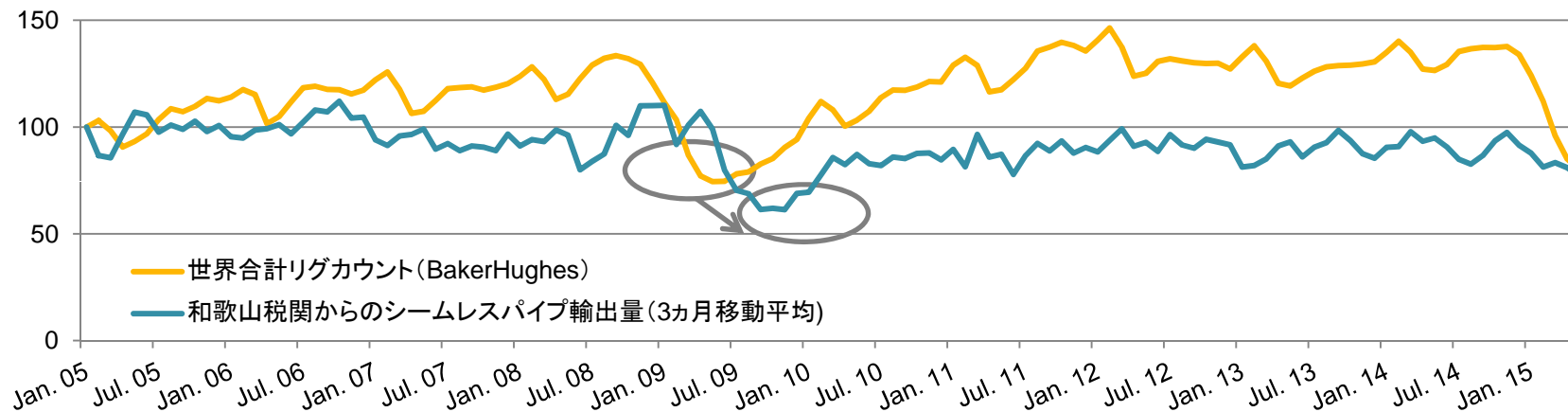
*2 CY2015 1H = 1Q + (4月+5月) × 3/2

《ご参考》 エネルギー関連指標の推移

原油価格とシームレスパイプ販売価格 (2005年1月=100)



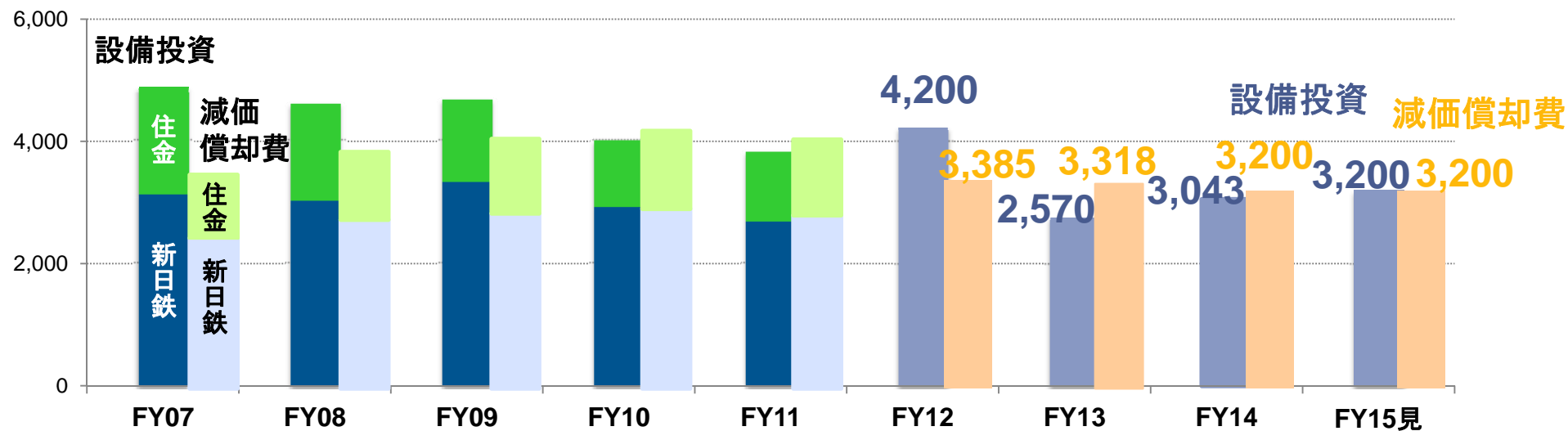
リグカウントとシームレスパイプ出荷量 (2005年1月=100)



設備投資・減価償却費

(単位:億円)

新日鐵住金 (上段:新日鐵 下段:住金)	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15 見通し
設備投資額 <工事ベース>	4,900 (3,100) (1,788)	4,600 (3,000) (1,591)	4,650 (3,300) (1,366)	4,000 (2,900) (1,099)	3,800 (2,650) (1,157)	4,200	2,570	3,043	3,200
減価償却費	3,465 (2,440) (1,025)	3,835 (2,737) (1,098)	4,048 (2,840) (1,208)	4,177 (2,915) (1,262)	4,038 (2,809) (1,229)	3,385	3,318	3,200	3,200



※ 設備投資額：FY07～12の新日鐵住金は、新日鐵と住金の合算値を50億円単位で四捨五入

3. 中期経営計画の進捗状況

海外初の高成形性超ハイテン製造体制を構築

米国AM/NS Calvert: 当社技術供与に加え設備投資を決定

当社取得前
(実績)

	~1.2Gpa ハイテン	高成形性 超ハイテン
日本国内	○	○
AM/NS Calvert	×	×

技術供与後
~2016年末

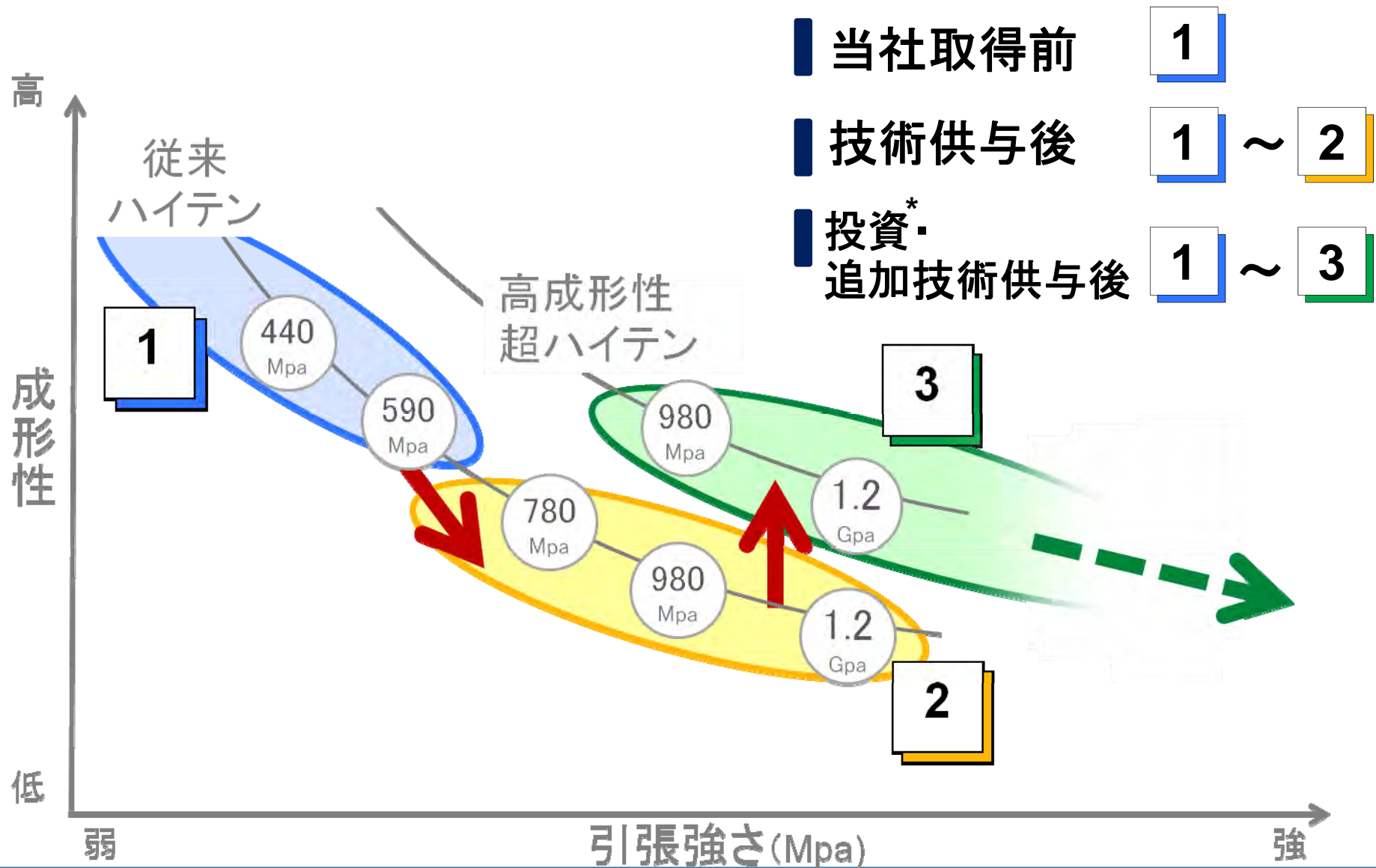
	~1.2Gpa ハイテン	高成形性 超ハイテン
	○	○
	○	×

投資*
追加技術供与後
2017年~

	~1.2Gpa ハイテン	高成形性 超ハイテン
	○	○
	○	○

・高成形性超ハイテン: ハイテンの中で、引張強度980Mpa以上と成形性等各種特性を高い次元で両立させたものを高成形性超ハイテンと呼称。自動車の骨格部品等に適用可能。

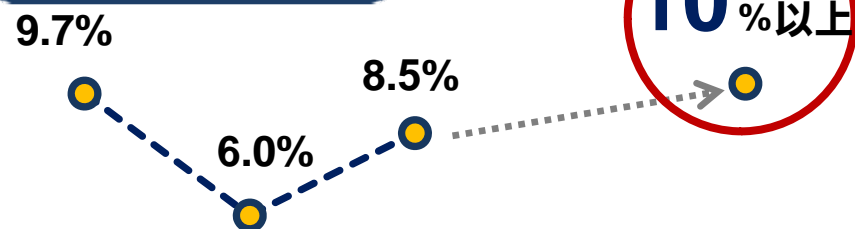
* 高成形性超ハイテンの製造体制確立に係る投資



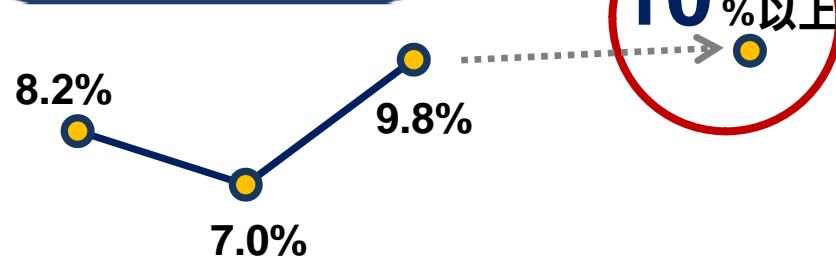
* 高成形性超ハイテンの製造体制確立に係る投資

② 定量的指標の目標値

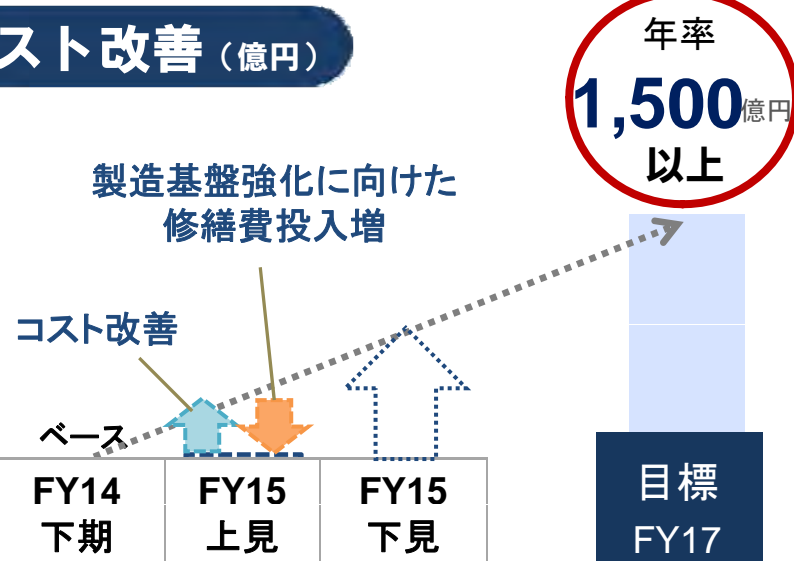
ROS



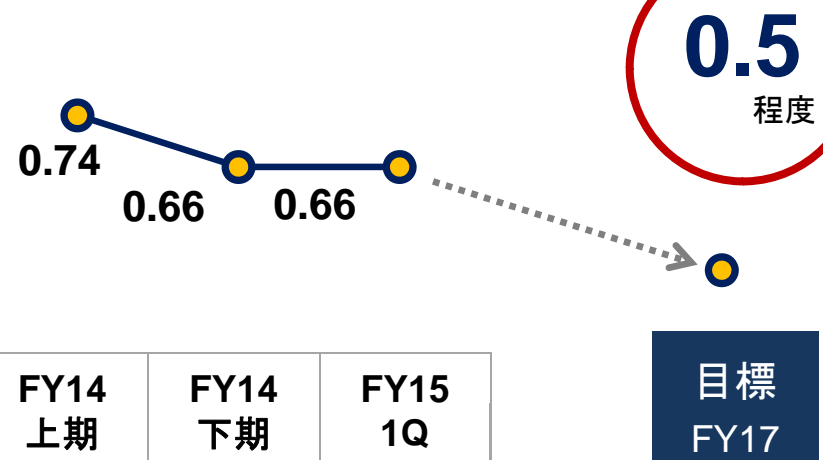
ROE



コスト改善 (億円)



D/Eレシオ



4. 参考データ

世界の経済成長率推移

<2015年7月9日IMF改定値>

前回 (2015.4.14)

	CY08	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14	CY15 見通し	CY16 見通し
世界合計	3.0	-0.5	5.3	3.9	3.4	3.4	(3.4) 3.4	(3.5) 3.3	(3.8) 3.8
先進諸国	0.5	-3.4	3.2	1.7	1.2	1.4	(1.8) 1.8	(2.4) 2.1	(2.4) 2.4
米国	0.4	-2.6	3.0	1.8	2.3	2.2	(2.4) 2.4	(3.1) 2.5	(3.1) 3.0
欧州	0.6	-4.1	1.9	1.5	-0.7	-0.4	(0.9) 0.8	(1.5) 1.5	(1.6) 1.7
日本	-1.2	-6.3	4.4	-0.6	1.5	1.6	(-0.1) -0.1	(1.0) 0.8	(1.2) 1.2
新興諸国	6.1	2.7	7.5	6.2	5.1	5.0	(4.6) 4.6	(4.3) 4.2	(4.7) 4.7
中国	9.6	9.2	10.4	9.3	7.7	7.7	(7.4) 7.4	(6.8) 6.8	(6.3) 6.3
インド	7.3	6.8	10.6	6.3	4.7	6.9	(7.2) 7.3	(7.5) 7.5	(7.5) 7.5
ASEAN5*	4.7	1.7	7.0	4.5	6.2	5.1	(4.6) 4.6	(5.2) 4.7	(5.3) 5.1
ロシア	5.6	-7.8	4.3	4.3	3.4	1.3	(0.6) 0.6	(-3.8) -3.4	(-1.1) 0.2
ブラジル	5.1	-0.6	7.5	2.7	1.0	2.7	(0.1) 0.1	(-1.0) -1.5	(1.0) 0.7

(出所: IMF)

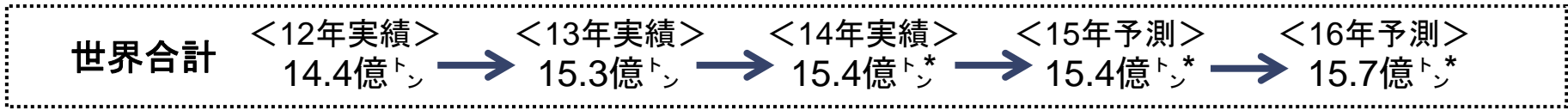
* ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム



新日鐵住金

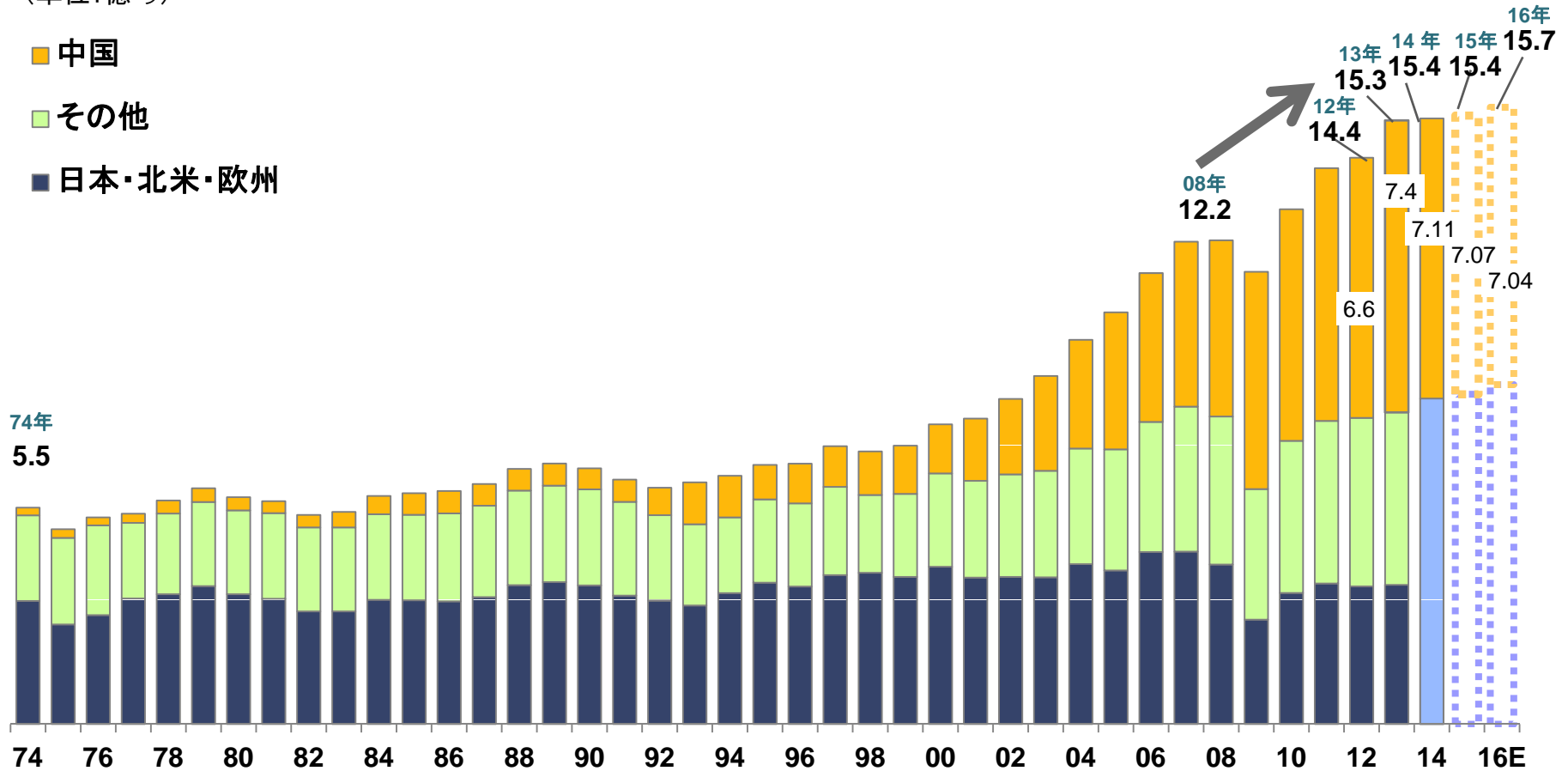
NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

世界の鉄鋼需要推移(鋼材見掛消費)



(単位:億トン)

- 中国
- その他
- 日本・北米・欧州



(出所: World Steel Association) *14年実績、15~16年予測(15年4月20日World Steel Association 発表)



世界月別粗鋼生産量

(百万トン)	CY14 [A]	CY15						CY15 年率換算 [C] (B*12/6)	差異 (A → C)
		1-3	4	5	6	4-6	1-6 [B]		
世界計* (前年同期比)	1,643.5 (+3.9%)	401.0 (-1.6%)	135.1 (-2.2%)	139.2 (-2.5%)	137.8 (-0.9%)	412.0 (-1.9%)	813.0 (-1.7%)	1,626.1	-17.4 (-1.1%)
日本 (前年同期比)	110.7 (+0.1%)	26.7 (-3.0%)	8.4 (-6.1%)	8.9 (-7.0%)	8.6 (-6.2%)	25.9 (-6.4%)	52.6 (-4.7%)	105.3	-5.4 (-4.9%)
韓国 (前年同期比)	71.0 (+7.6%)	16.9 (-5.2%)	5.7 (-7.3%)	6.0 (-2.8%)	5.9 (-3.6%)	17.6 (-4.6%)	34.5 (-4.9%)	69.1	-2.0 (-2.8%)
米国	88.2	19.9	6.4	6.8	6.7	20.0	39.9	79.7	-8.5
EU28	169.3	44.0	14.2	15.3	14.6	44.2	88.1	176.2	+6.9
ロシア	71.5	18.2	5.9	6.0	5.6	17.5	35.7	71.4	-0.0
ブラジル	33.9	8.4	2.9	3.0	2.8	8.7	17.1	34.2	+0.3
インド	86.5	22.5	7.4	7.6	7.4	22.5	45.0	89.9	+3.4
中国 (前年同期比)	822.7 (+5.6%)	200.0 (-1.4%)	68.9 (-0.7%)	70.0 (-1.7%)	71.1 (+2.3%)	210.0 (0.0%)	410.0 (-0.7%)	819.9	-2.8 (-0.3%)

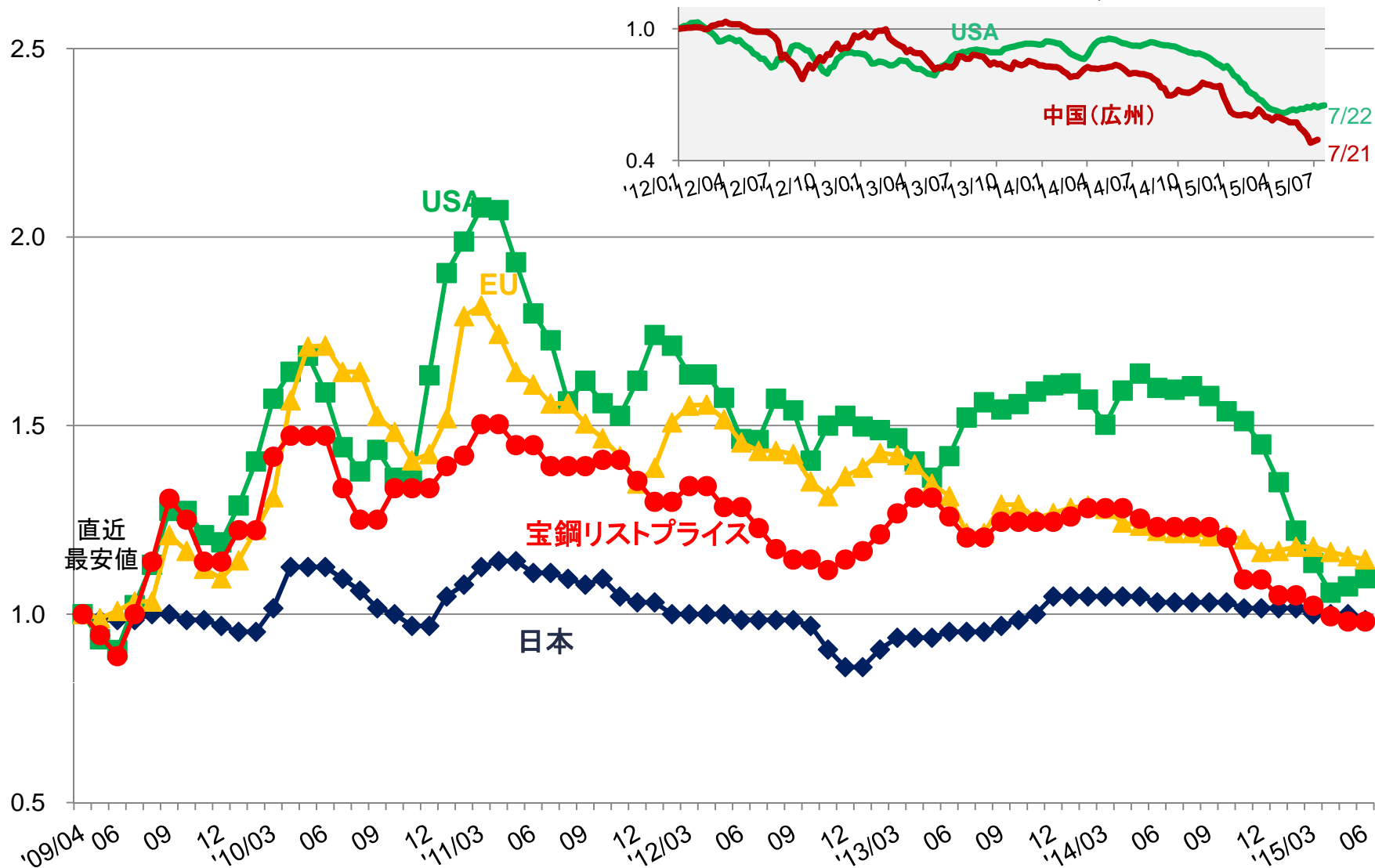
(出所 : World Steel Association)

* 世界65カ国の合計値

世界各国ホットコイル市況推移

(2009年4月各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)

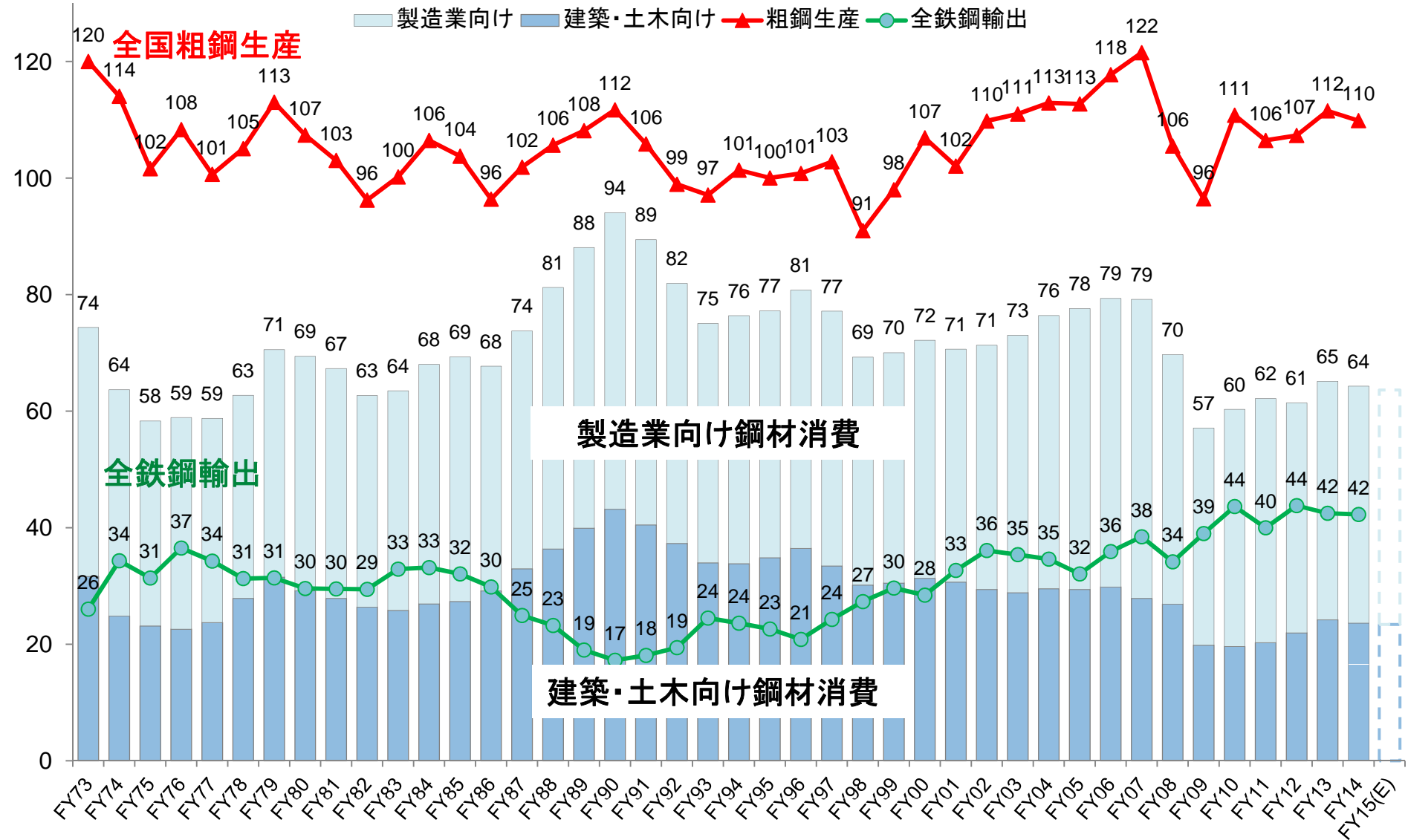
cf1) 直近の米国・中国(広州)市況 (2012年1月起点)



(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)

国内鋼材消費推移

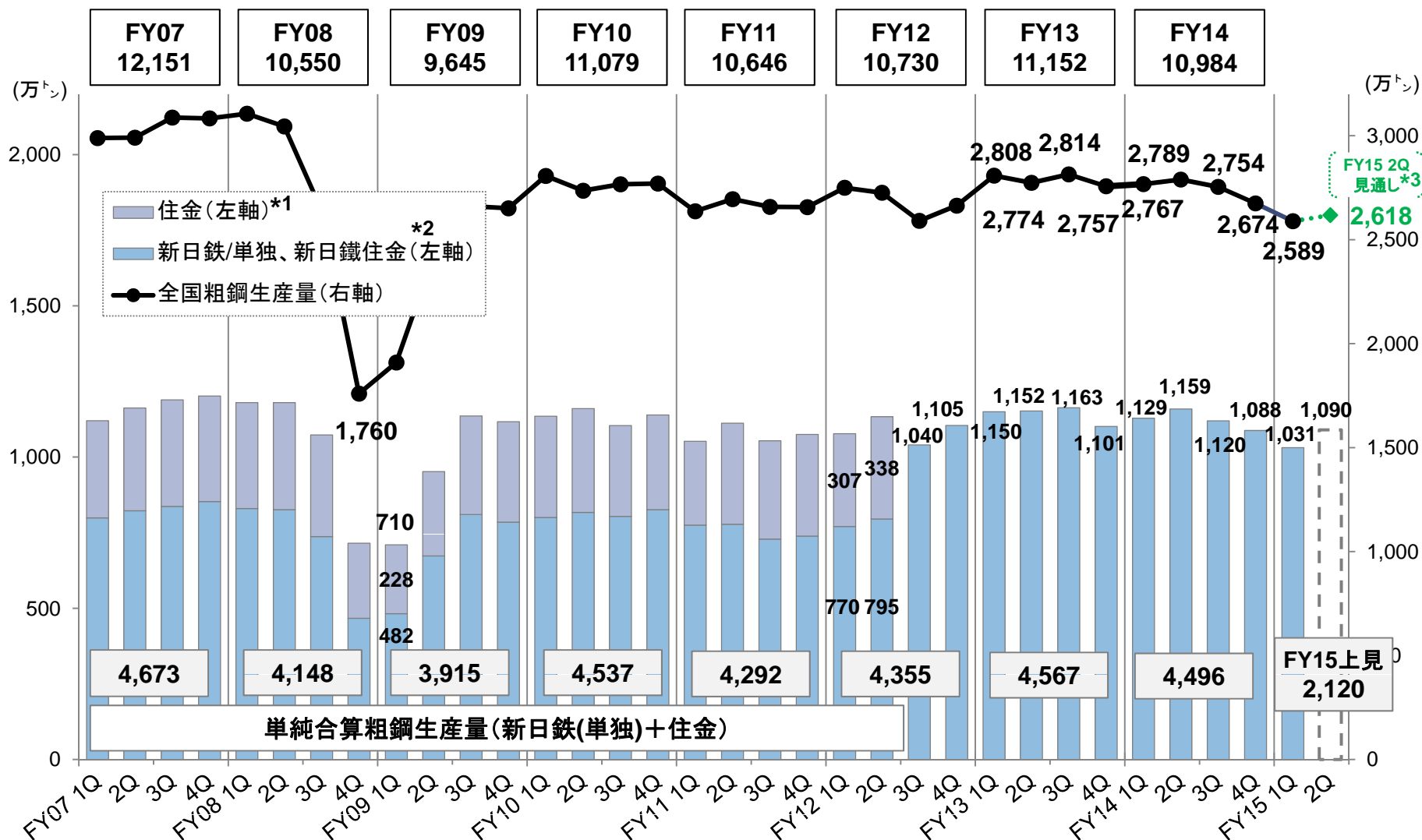
(百万ト)



(出所:各種統計資料・当社推定)

国内粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量

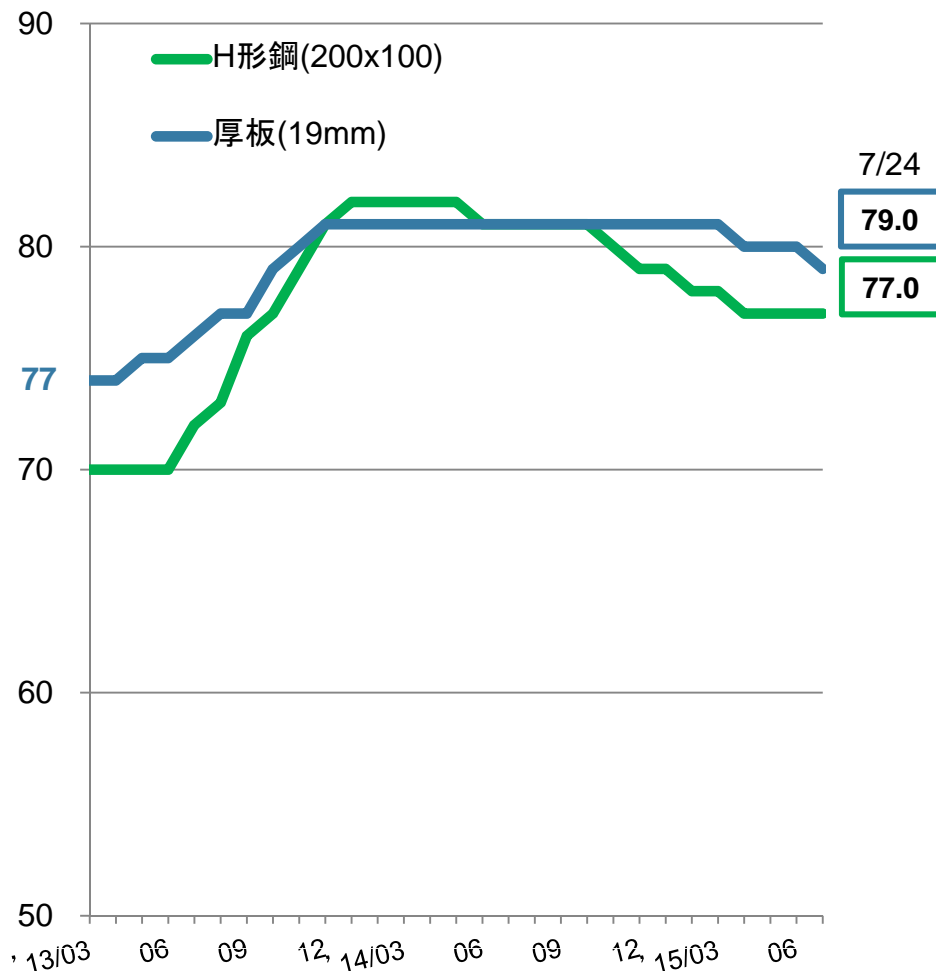


*1 住金: 旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み *2 新日鐵住金: 日鐵住金鋼鉄和歌山含み

*3 経済産業省発表 FY15.2Q鋼材需要見通し(2015/7/3)

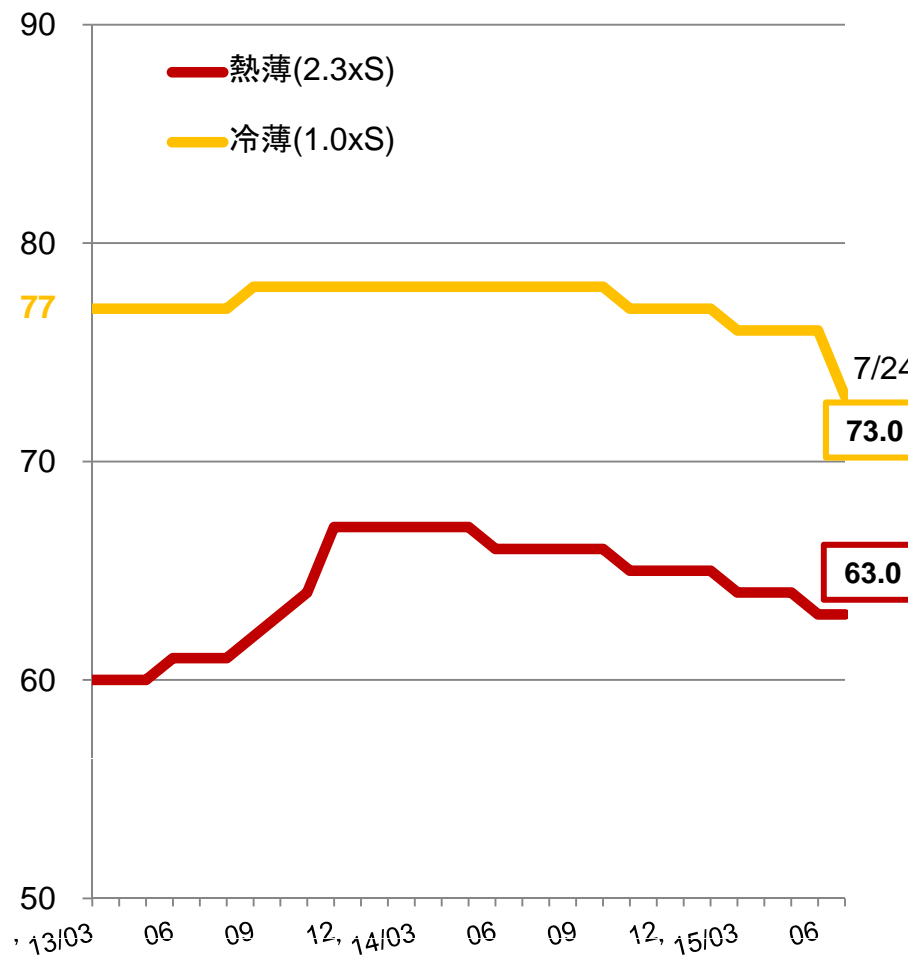
厚板・H形鋼

(千円/トン)



熱延・冷延

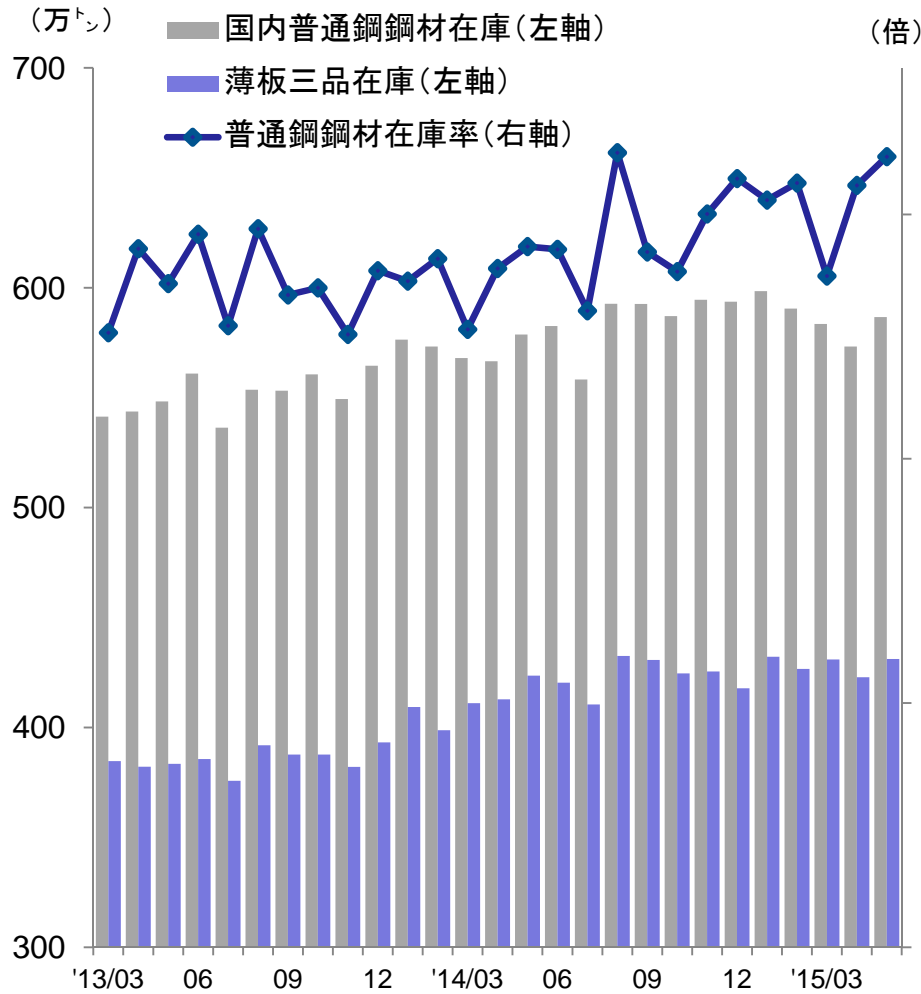
(千円/トン)



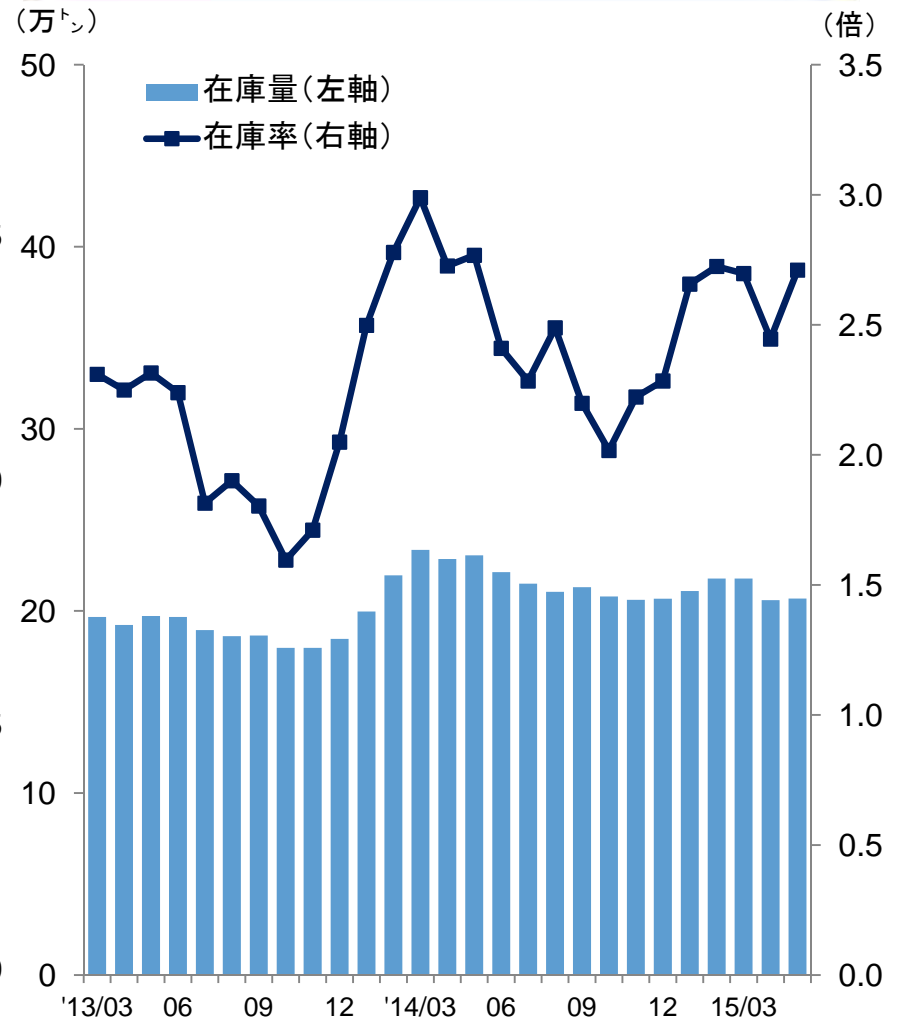
(出所: 鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格)

国内鋼材在庫推移

普通鋼鋼材・薄板三品在庫



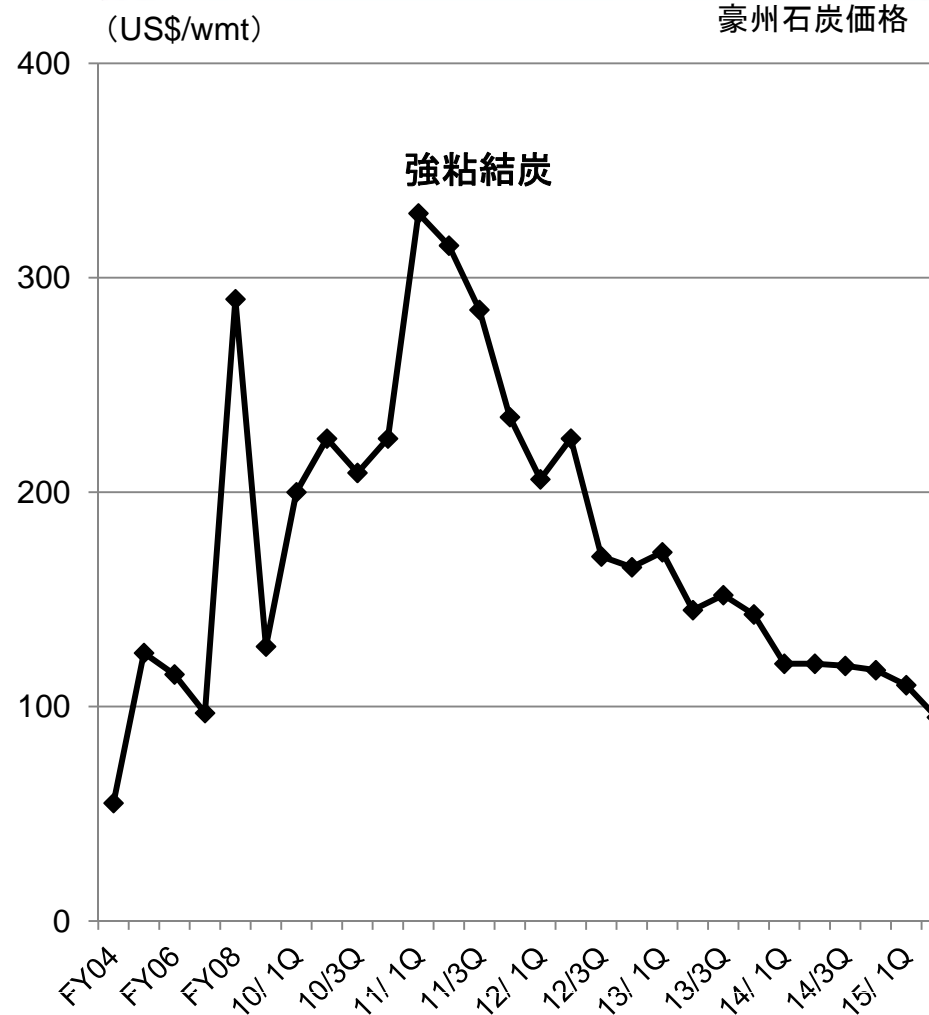
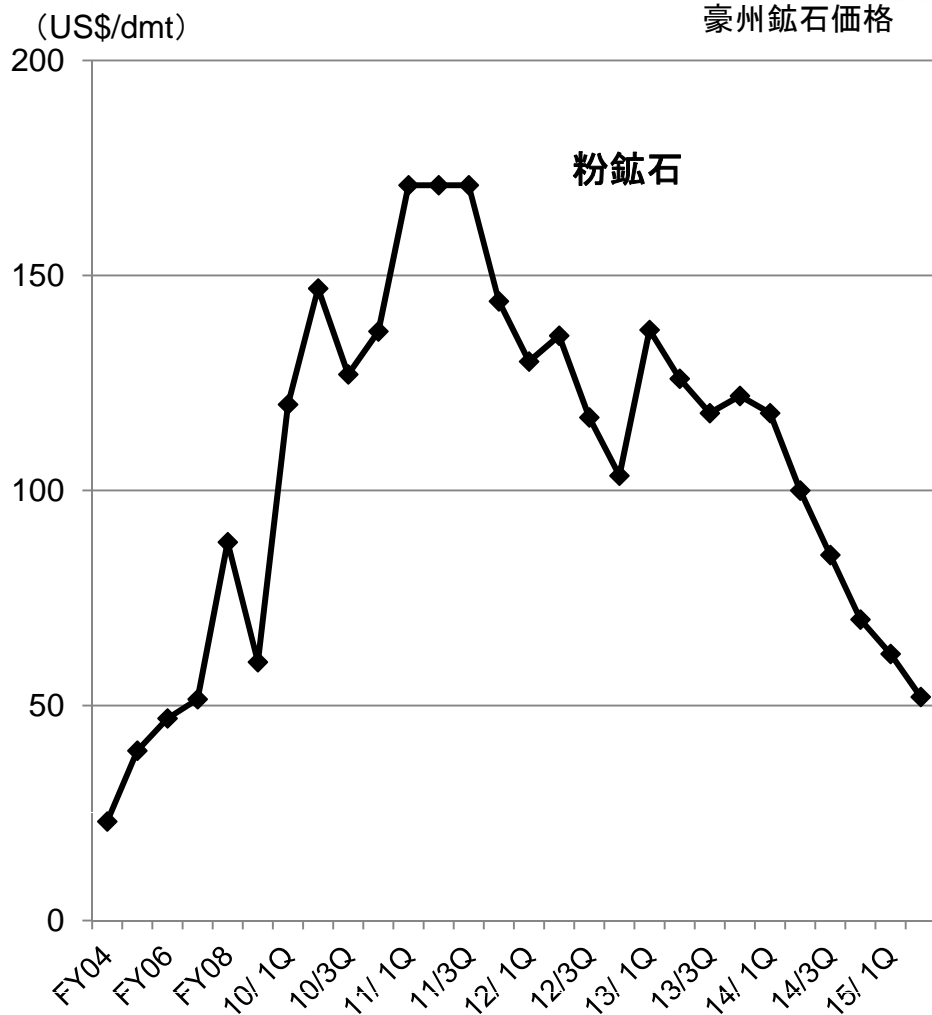
ときわ会 (H形鋼) 在庫



(出所: 日本鉄鋼連盟)

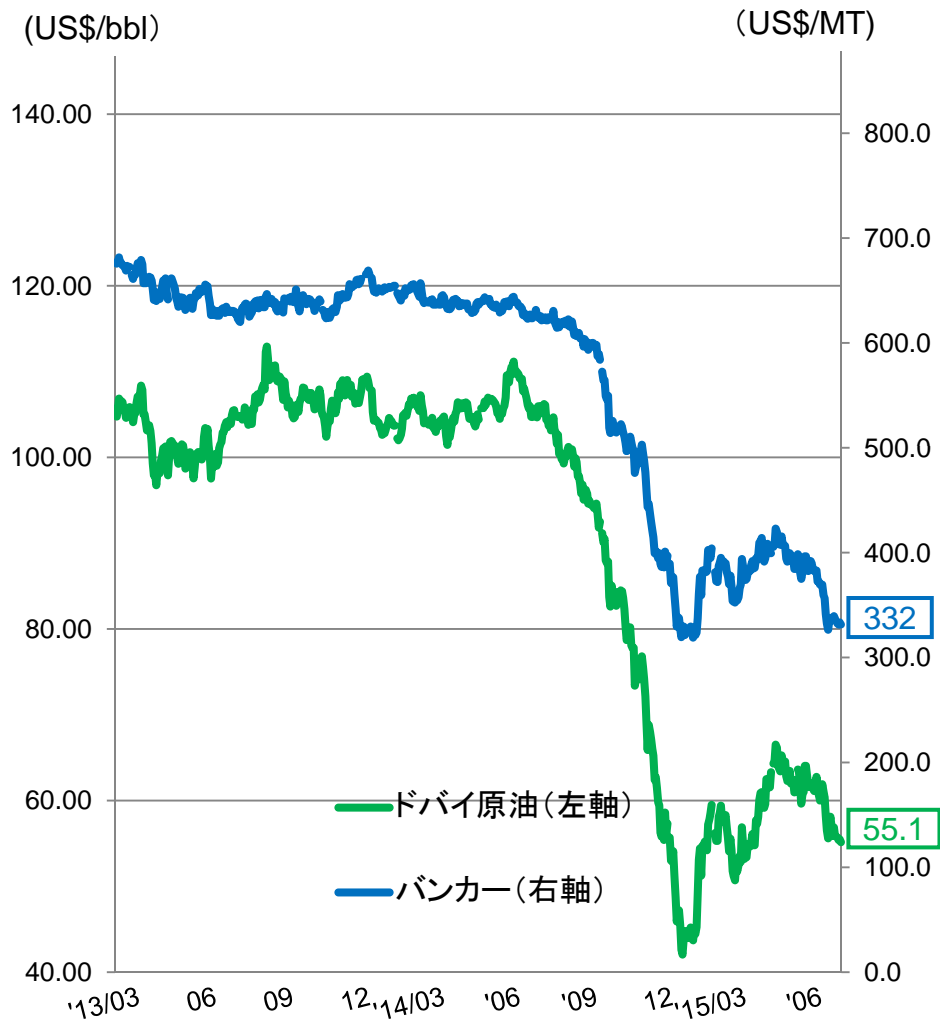
鉄鉱石

原料炭

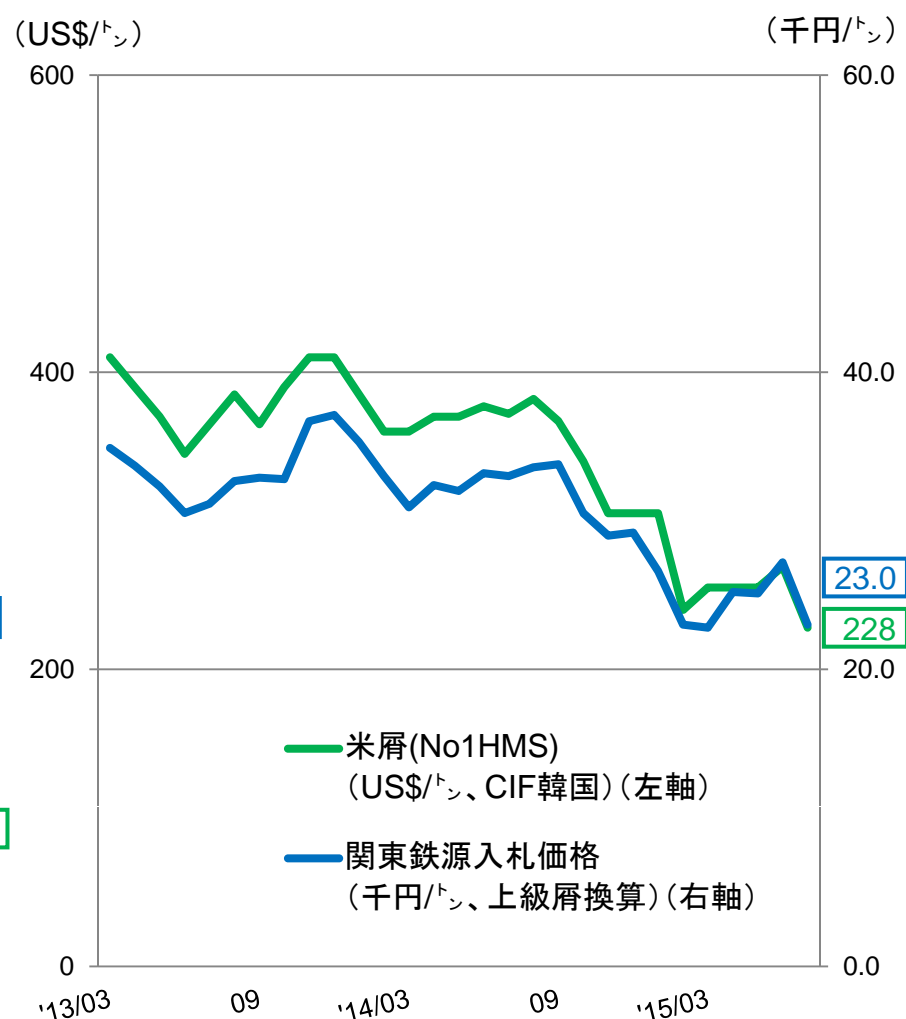


原料市況 <原油・スクラップ>

原油



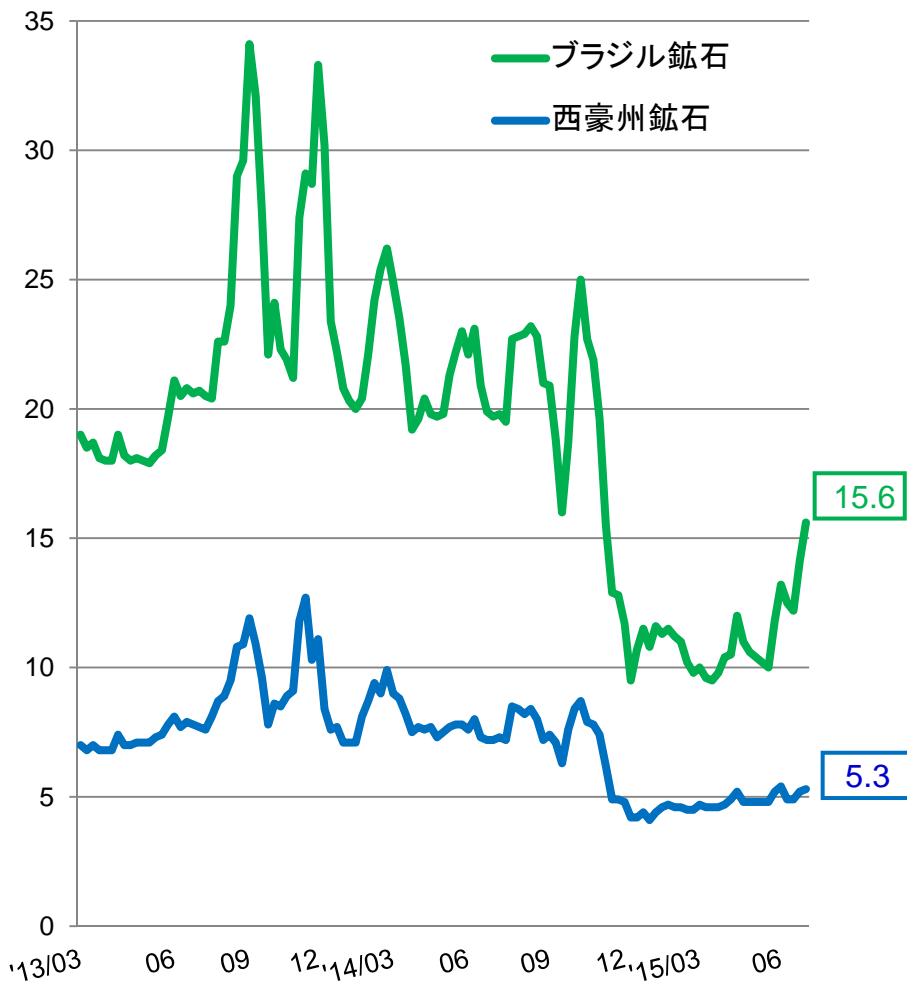
スクラップ



原料市況 <フレート・型鉄>

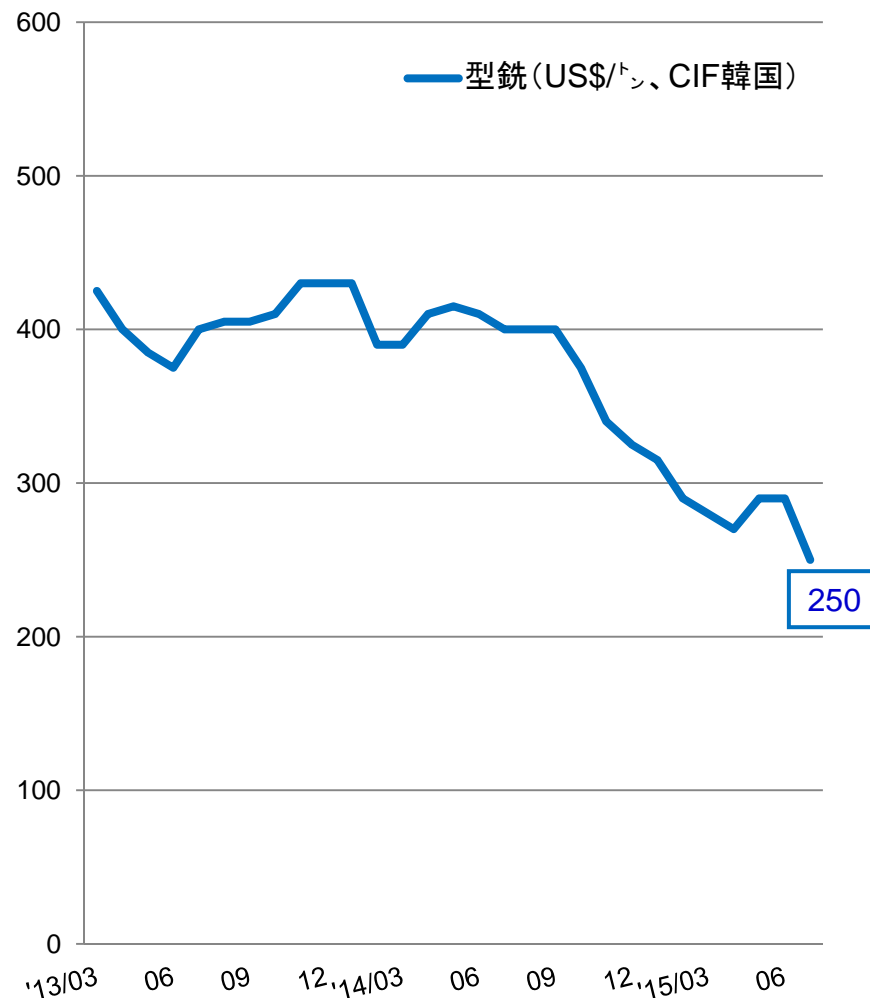
フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)

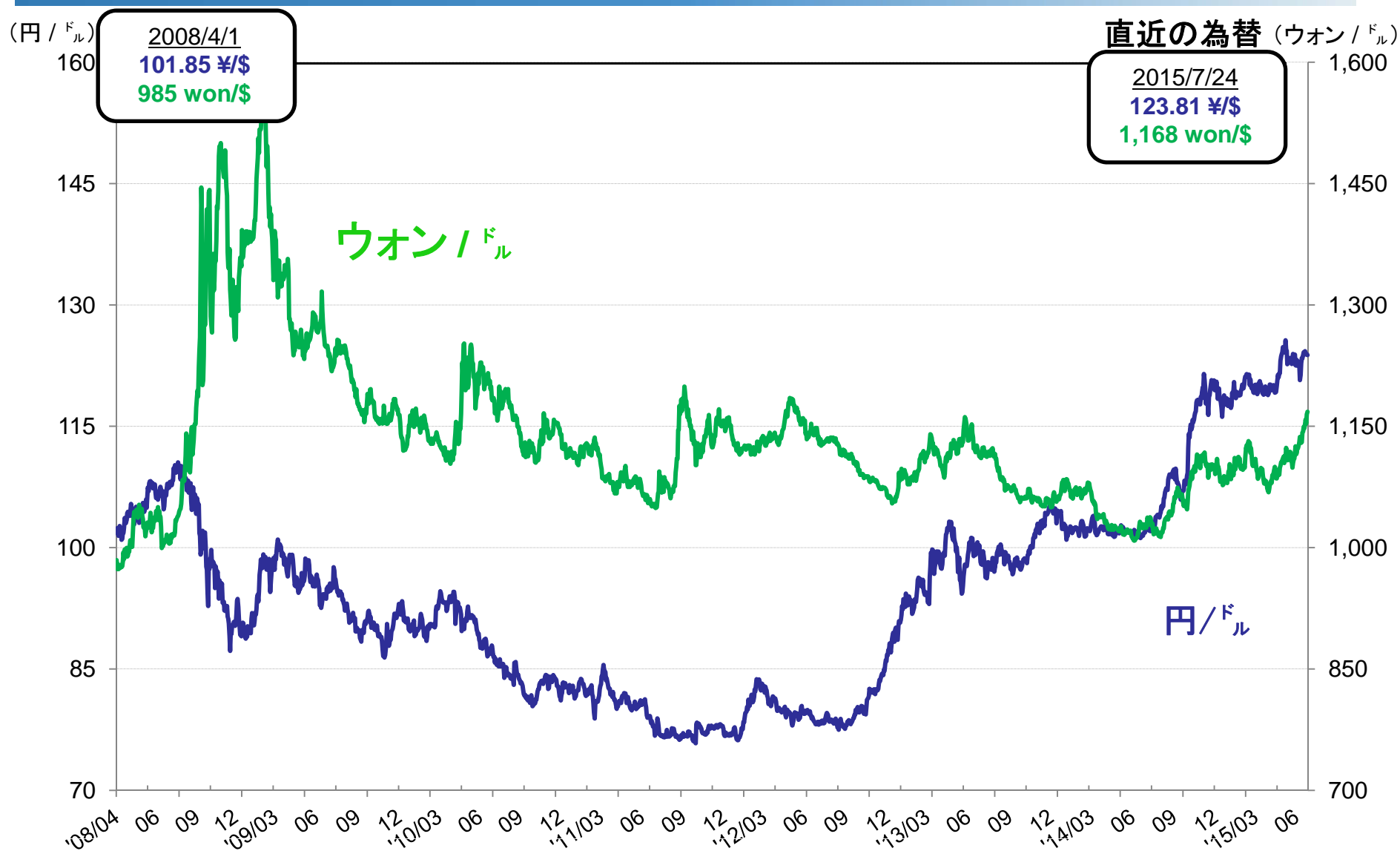


型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)



為替推移 (円/ドル, ウォン/ドル)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。